

若年層の食品安全に関する意識調査 報告書

令和7年3月

東京都保健医療局

目 次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 調査結果を見る上での注意点	1
II 調査結果の要約	2
1 食品安全に関する意識	2
2 食中毒に関する知識	2
3 食品安全に関する情報収集について	3
4 東京都の食品安全に関する情報発信について	3
III 調査結果	4
1 回答者の属性	4
2 食品安全に関する意識	6
(1) 料理をする頻度	6
(2) 食品購入時や外食の際に気にしていること	7
(3) 食品添加物についての考え方	9
(4) 残留農薬についての考え方	11
(5) 遺伝子組換え食品についての考え方	13
(6) 放射性物質についての考え方	15
(7) 健康食品（サプリメント）に対するイメージ	18
(8) 輸入食品に対するイメージ	20
3 食中毒に関する知識	22
(1) 食中毒になった経験	22
(2) 食中毒予防のために気を付けていること	24
(3) 食中毒に対する認識	27
(4) 食中毒予防についての認知経路	31
4 食品安全に関する情報収集について	35
(1) 情報入手手段	35
(2) インターネットにおける情報源	38
(3) わかりやすい情報提示方法	50
5 東京都の食品安全に関する情報発信について	56
(1) 東京都の食品安全に関する情報で見たことがあるもの	56
(2) 食品安全に関し、東京都のホームページ等に載っていたらよいと思うもの	58
6 自由記述	62
IV 資料（調査票）	67

I 調査概要

1 調査目的

若年層に向けた食品安全の普及啓発を実施するにあたり、対象となる層の持つ食品安全に関する意識や、どの程度の知識を持っているかなどの調査を行い、結果を今後の普及啓発の基礎資料とする。

2 調査対象

15歳（高校生）以上 25歳以下の都民

3 調査期間

令和6年12月13日（金）から令和6年12月27日（金）まで

4 調査方法

アンケートモニターに対するインターネットアンケート

5 調査結果を見る上での注意点

- ① 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示している。
- ② 回答の比率（%）は小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合や、複数の項目を合計した数値が表・グラフの数値の合計と一致しない場合がある。
- ③ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ④ 図表において、順序性のある選択肢を除き、「全体」の割合が高い順に選択肢を並べている。
- ⑤ 表示の都合上、帯グラフの0%については表示を省略している。
- ⑥ 数表において、比率が「全体」よりも10ポイント以上高いセルを濃い赤色、5ポイント以上高いセルを薄い赤色、5ポイント以上低いセルを薄い青色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で色付けしている。ただし、回答者数（n）が30未満の場合は参考値としているため、色付けをしていない。

【比率の差】（n=30以上）	
「全体」+10ポイント以上	■
「全体」+5ポイント以上	■
「全体」-5ポイント以上	■
「全体」-10ポイント以上	■

II 調査結果の要約

1 食品安全に関する意識

- ・ふだん自分で料理をする頻度は、「ほぼ毎日」、「週に3~5日」、「週に1~2日」がそれぞれ1割台であり、「ほとんどしない」が5割を上回った（図表5）。
- ・食品購入時や外食の際に気にしていることは、「食品価格」が3割を超えて最も高く、「食品添加物（保存料、着色料等）」、「脂質の量」、「食品ロス」などが1割台で続く一方で、「特になし」が4割近くを占めた（図表7）。また、料理をする頻度別に見ると、週1日以上する人は「食品添加物（保存料、着色料等）」、「塩分量」、「外食時の食品衛生」、「食中毒」の4項目で、料理をほとんどしない人を大きく上回った。一方で、ほとんどしない人は「特になし」が6割近くを占めた（図表9）。
- ・食品添加物については「健康に影響があると思う」が4割を超えて最も高かったが、残留農薬、遺伝子組換え食品、放射性物質については「わからない」が4割を超えて最も高かった（図表10、図表13、図表16、図表19）。
- ・健康食品（サプリメント）のイメージは、《良い》（「良い」と「まあまあ良い」の合計）が4割を超え（図表23）、輸入食品については「どちらともいえない」が4割を超えた（図表26）。

2 食中毒に関する知識

- ・食中毒になった経験は、「あった」が約2割、「なかった」が5割半ばであった（図表29）。
- ・食中毒予防のために気を付けていることとしては、「鶏の刺身やレアハンバーグなど、中まで火が通っていない肉は食べない」と「要冷蔵と書かれたものは冷蔵庫で保存する」が3割台、「調理の前や食事の前等には手を洗う」が2割後半などとなった（図表32）。
- ・「食中毒にかかると、時には死ぬこともある」については7割近くが「そう思う」（正解）と回答したが（図表36）、[カビ毒はゆでたり炒めたりするなどの通常の調理方法ではほとんど減らない]では「そう思う」（正解）は4割半ばに留まった（図表40）。料理をする頻度別に見ると、いずれにおいても料理をする人の方が「そう思う」（正解）の割合が高く、ほとんどしない人は「わからない」が高かった（図表38、図表42）。
- ・食中毒予防についての認知経路は、「学校で習った」が4割近く、「家庭や友人から教わった」は2割前半であったが、一方で「習っていない」・「覚えていない」が合計で約5割を占めた（図表44）。また、「学校」の内訳は、「中学校」が6割半ば、「小学校」が4割後半、「高校」が4割前半であった（図表49）。年齢別に見ると、15歳~18歳と19歳~22歳は「学校で習った」が最も高く、23歳~25歳は「習っていない」が最も高かった（図表45）。食中毒になった経験別では、食中毒になったことが「あった」と回答した人は「学校で習った」と「家族や友人から教わった」の割合が高く、「わからない・覚えていない」と回答した人は「習っていない」の割合が高かった（図表46）。

3 食品安全に関する情報収集について

- ・ふだん何かを調べるときの情報入手手段としては、「インターネット」が6割半ばで最も高く、「家族」、「テレビ」、「友人・知人」が2割半ばで続いた（図表51）。
- ・インターネットにおける情報源としては、「ソーシャルネットワーキングサービス（以下 SNS という。）」が6割前半で最も高く、次いで「ホームページ」が約5割、「ニュースサイト」が4割前半で続いた（図表55）。インターネットで得た情報の信頼度としてはいずれの情報源も「ある程度信頼できている」と思っている」が5割を超えていた（図表57）。また、情報を得ているウェブサイトや SNS について具体的に聞いたところ、「検索して上位にヒットしたもの」が約6割と最も高く、次いで「企業が公開しているウェブサイトや SNS」が5割近く、「行政機関が公開しているウェブサイトや SNS」が3割半ばで続いた（図表64）。
- ・情報を得ている SNS については、「X（旧 Twitter）」が7割を超えて最も高く、次いで「Instagram」と「YouTube」が約6割で続いた（図表66）。SNS から得た情報の信頼度としては、「Instagram」、「YouTube」、「LINE」では《信頼できる》（「かなり信頼できている」と「ある程度信頼できている」と思っている）の合計が7割半ばを上回った。一方で「X（旧 Twitter）」と「TikTok」は《信頼できない》（「あまり信頼できない」と「ほとんど信頼できない」と思っている）の合計がそれぞれ4割半ば、3割後半であった（図表68）。
- ・わかりやすい情報提示方法としては、「動画」が約3割で最も高く、次いで「文字」と「グラフや図」が2割台で続いた（図表75）。インターネットにおける情報源別では、「動画配信サービス」と「SNS」を利用している人は「動画」が高く、「ホームページ」と「ニュースサイト」を利用している人は「グラフや図」が高かった（図表77）。情報を得ている SNS 別に見ると、「Instagram」、「TikTok」、「YouTube」を利用している人は「動画」が高く、「X（旧 Twitter）」を利用している人は「動画」と「グラフや図」が高かった（図表78）。
- ・「動画」について最後まで見ようと思う長さは「30秒以下」が2割半ばで最も高かった（図表79）。
- ・「文字」について適切な文字数は「140字以下（Xの1投稿分）」が4割前半で最も高かった（図表83）。また、インターネットにおける情報源別では、「ホームページ」と「ニュースサイト」を利用している人は「1000字以下（スマホ約3画面分）」が高く、「SNS」を利用している人は「140字以下（Xの1投稿分）」が高かった（図表85）。

4 東京都の食品安全に関する情報発信について

- ・東京都の食品安全に関する情報で見たことがあるものとしては、「ホームページ」が2割近くで最も高く、「X（旧 Twitter）、LINE 等の SNS」、「ポスター」などが続くがいずれも1割台に留まった。一方で「見たことがない」が5割を超えた（図表87）。
- ・食品安全に関し、東京都のホームページ等に載っていたらよいと思うものとしては、「食中毒」が2割半ばで最も高く、「カビ・カビ毒」、「食品添加物（保存料、着色料等）」が2割近くで続いた。一方で「特になし」が4割近くを占めた（図表89）。

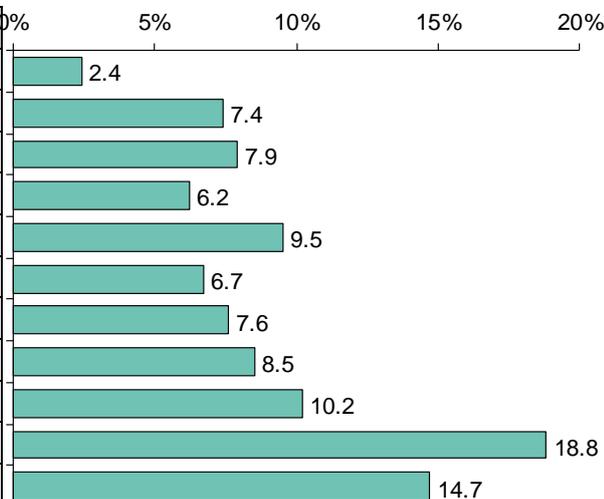
Ⅲ 調査結果

1 回答者の属性

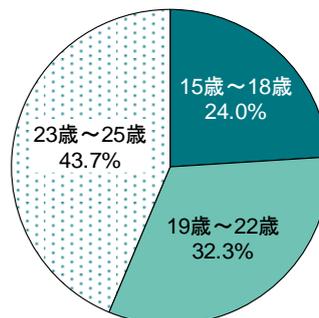
① 年齢

	実数	構成比
15歳	14	2.4%
16歳	43	7.4%
17歳	46	7.9%
18歳	36	6.2%
19歳	55	9.5%
20歳	39	6.7%
21歳	44	7.6%
22歳	49	8.5%
23歳	59	10.2%
24歳	109	18.8%
25歳	85	14.7%
15歳～18歳	139	24.0%
19歳～22歳	187	32.3%
23歳～25歳	253	43.7%
回答者数 (n)	579	100.0%

図表1：年齢



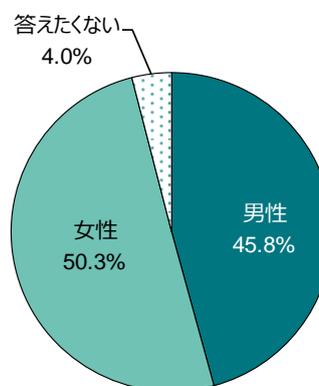
図表2：年齢（3区分）



② 性別

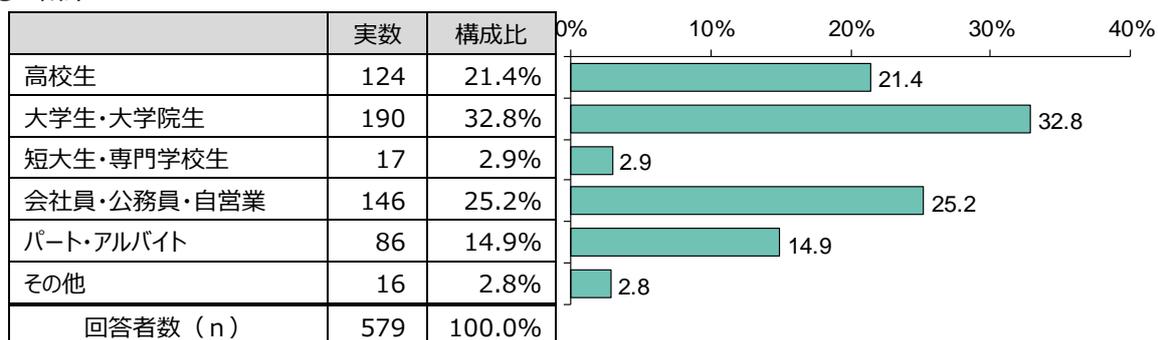
	実数	構成比
男性	265	45.8%
女性	291	50.3%
答えたくない	23	4.0%
回答者数 (n)	579	100.0%

図表3：性別



③ 職業

図表4：職業



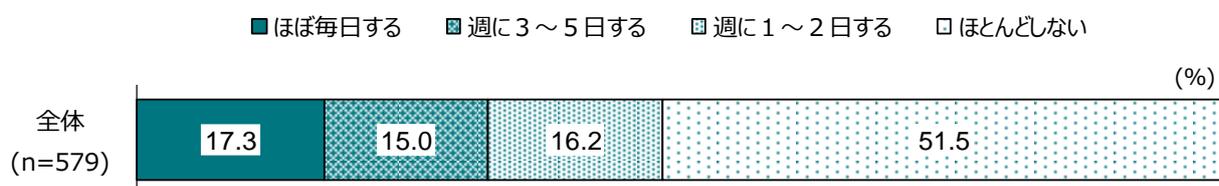
2 食品安全に関する意識

(1) 料理をする頻度

Q1 あなたはふだん自分で料理をしますか。

ふだん自分で料理をする頻度については、「ほぼ毎日する」、「週に3～5日する」、「週に1～2日する」を合計した《週1日以上》の割合が48.5%であった。一方、「ほとんどしない」が51.5%であった。

図表5. 料理をする頻度



性別に見ると、「週に3～5日する」の割合は、女性よりも男性の方が8.6ポイント高かった。

年齢別に見ると、「ほぼ毎日する」の割合は年齢が上がるほど高く、23歳～25歳が28.1%と全体(17.3%)を10.8ポイント上回った。また、15歳～18歳は「ほとんどしない」が66.9%と全体(51.5%)を15.4ポイント上回った。

図表6. 【性別・年齢別】料理をする頻度

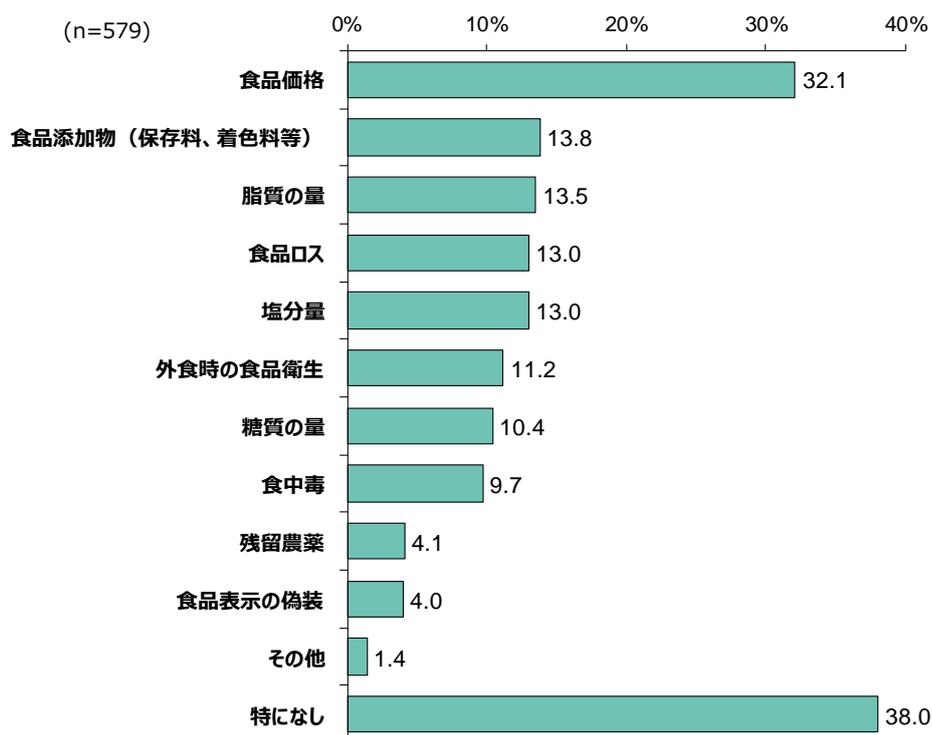
		回答者数 (n)	ほぼ毎日する	週に3～5日する	週に1～2日する	ほとんどしない	《週1日以上》
全体		579	17.3	15.0	16.2	51.5	48.5 (%)
性別	男性	265	18.9	19.6	14.3	47.2	52.8
	女性	291	17.2	11.0	18.2	53.6	46.4
	答えたくない	23	-	13.0	13.0	73.9	26.1
年齢	15歳～18歳	139	5.8	10.8	16.5	66.9	33.1
	19歳～22歳	187	11.2	19.3	16.0	53.5	46.5
	23歳～25歳	253	28.1	14.2	16.2	41.5	58.5

(2) 食品購入時や外食の際に気にしていること

Q2 次のうち、あなたがふだん食品を購入したり、外食の際に特に気にしていることは何ですか。(3つまで)

食品購入時や外食の際に気にしていることについては、「食品価格」が 32.1%と最も高く、次いで「食品添加物（保存料、着色料等）」が 13.8%、「脂質の量」が 13.5%、「食品ロス」と「塩分量」がともに 13.0%で続いた。なお、「特になし」は 38.0%であった。

図表 7. 食品購入時や外食の際に気にしていること（3つまで）



性別に見ると、男性は「食品添加物（保存料、着色料等）」の割合が 19.6%と全体（13.8%）を 5.8 ポイント上回った。

年齢別に見ると、15 歳～18 歳は「食品価格」が 38.8%と全体（32.1%）を 6.7 ポイント上回った。

図表 8. 【性別・年齢別】食品購入時や外食の際に気にしていること（3 つまで）

	回答者数 (n)	食品価格	食品添加物 (保存料、着色料等)	脂質の量	食品ロス	塩分量	外食時の食品衛生	糖質の量	食中毒	残留農薬	食品表示の偽装	その他	特になし	
全体	579	32.1	13.8	13.5	13.0	13.0	11.2	10.4	9.7	4.1	4.0	1.4	38.0 (%)	
性別	男性	265	29.1	19.6	13.6	13.2	12.5	14.3	8.3	11.3	6.8	6.4	2.6	34.3
	女性	291	36.4	9.6	14.4	12.7	14.1	8.6	13.1	8.9	2.1	1.7	0.3	38.8
	答えたくない	23	13.0	-	-	13.0	4.3	8.7	-	-	-	4.3	-	69.6
年齢	15歳～18歳	139	38.8	11.5	15.1	10.1	11.5	11.5	14.4	10.8	1.4	3.6	1.4	33.1
	19歳～22歳	187	31.0	16.0	12.8	13.9	11.8	13.4	9.6	9.1	3.7	1.6	2.7	38.5
	23歳～25歳	253	29.2	13.4	13.0	13.8	14.6	9.5	8.7	9.5	5.9	5.9	0.4	40.3

Q 1 の料理をする頻度別に見ると、「食品添加物（保存料、着色料等）」、「塩分量」、「外食時の食品衛生」、「食中毒」の 4 項目は、「ほとんどしない」人と比べて《週 1 日以上》する人の方が 10 ポイント以上高くなった。また、「ほとんどしない」人は「特になし」が 57.4%と全体（38.0%）を 19.4 ポイント上回った。

図表 9. 【料理頻度別】食品購入時や外食の際に気にしていること（3 つまで）

	回答者数 (n)	食品価格	食品添加物 (保存料、着色料等)	脂質の量	食品ロス	塩分量	外食時の食品衛生	糖質の量	食中毒	残留農薬	食品表示の偽装	その他	特になし	
全体	579	32.1	13.8	13.5	13.0	13.0	11.2	10.4	9.7	4.1	4.0	1.4	38.0 (%)	
料理頻度	ほぼ毎日する	100	31.0	19.0	20.0	15.0	25.0	16.0	13.0	12.0	9.0	12.0	-	21.0
	週に 3～5 日する	87	31.0	20.7	21.8	23.0	19.5	16.1	13.8	18.4	11.5	6.9	3.4	10.3
	週に 1～2 日する	94	45.7	19.1	11.7	16.0	19.1	17.0	8.5	16.0	2.1	3.2	1.1	20.2
	ほとんどしない	298	28.5	8.4	9.4	8.4	5.0	6.4	9.1	4.4	1.0	0.7	1.3	57.4
	《週 1 日以上》	281	35.9	19.6	17.8	17.8	21.4	16.4	11.7	15.3	7.5	7.5	1.4	17.4

(3) 食品添加物についての考え方

Q3 あなたがふだん食べている食事の食品添加物について、どのように思いますか。

食品添加物については、「健康に影響があると思う」が 43.2%、「健康に影響が無いと思う」が 22.8%、「わからない」が 34.0%であった。

図表 10. 食品添加物についての考え方



性別では大きな差は見られなかった。

年齢別に見ると、19歳～22歳は「わからない」の割合が 39.0%と全体（34.0%）を 5.0ポイント上回った。

図表 11. 【性別・年齢別】食品添加物についての考え方

		回答者数 (n)	健康に影響があると思う (%)	健康に影響が無いと思う (%)	わからない (%)
全体		579	43.2	22.8	34.0
性別	男性	265	44.5	23.0	32.5
	女性	291	44.3	23.4	32.3
	答えたくない	23	13.0	13.0	73.9
年齢	15歳～18歳	139	44.6	27.3	28.1
	19歳～22歳	187	41.7	19.3	39.0
	23歳～25歳	253	43.5	22.9	33.6

Q1の料理をする頻度別に見ると、「ほぼ毎日する」人と「週に3～5日する」人では「健康に影響があると思う」の割合が全体（43.2%）を10ポイント以上上回り、料理をする頻度が高い人ほど「健康に影響があると思う」の割合が高かった。また、「ほとんどしない」人は「わからない」が50.3%と全体（34.0%）を16.3ポイント上回った。

図表 12. 【料理頻度別】食品添加物についての考え方

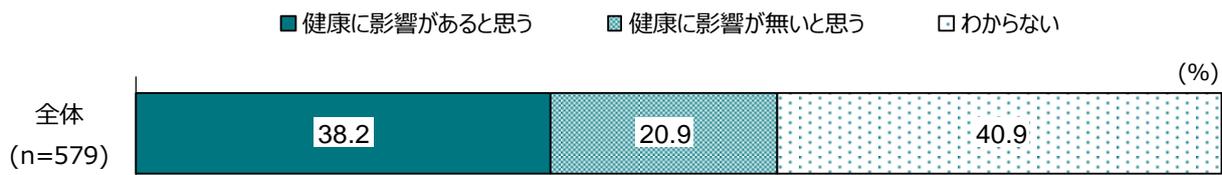
		回答者数 (n)	思う 健康に 影響が あると	思う 健康に 影響が 無いと	わから ない
全体		579	43.2	22.8	34.0 (%)
料理 頻 度	ほぼ毎日する	100	66.0	19.0	15.0
	週に3～5日する	87	60.9	28.7	10.3
	週に1～2日する	94	43.6	31.9	24.5
	ほとんどしない	298	30.2	19.5	50.3
	《週1日以上》	281	56.9	26.3	16.7

(4) 残留農薬についての考え方

Q4 あなたがふだん食べている食事の残留農薬について、どのように思いますか。

残留農薬については、「健康に影響があると思う」が 38.2%、「健康に影響が無いと思う」が 20.9%、「わからない」が 40.9%であった。

図表 13. 残留農薬についての考え方



性別に見ると、男性は「健康に影響があると思う」の割合が 46.4%と全体 (38.2%) を 8.2 ポイント上回った。

年齢別では大きな差は見られなかった。

図表 14. 【性別・年齢別】残留農薬についての考え方

		回答者数 (n)	健康に影響があると思う (%)	健康に影響が無いと思う (%)	わからない (%)
全体		579	38.2	20.9	40.9
性別	男性	265	46.4	19.2	34.3
	女性	291	33.0	23.4	43.6
	答えたくない	23	8.7	8.7	82.6
年齢	15歳～18歳	139	36.0	22.3	41.7
	19歳～22歳	187	38.0	20.9	41.2
	23歳～25歳	253	39.5	20.2	40.3

Q1の料理をする頻度別に見ると、「ほぼ毎日する」人と「週に3～5日する」人では「健康に影響があると思う」の割合が全体（38.2%）を10ポイント以上上回り、料理をする頻度が高い人ほど「健康に影響があると思う」の割合が高かった。また、「ほとんどしない」人では「わからない」が56.7%と全体（40.9%）を15.8ポイント上回った。

図表 15. 【料理頻度別】残留農薬についての考え方

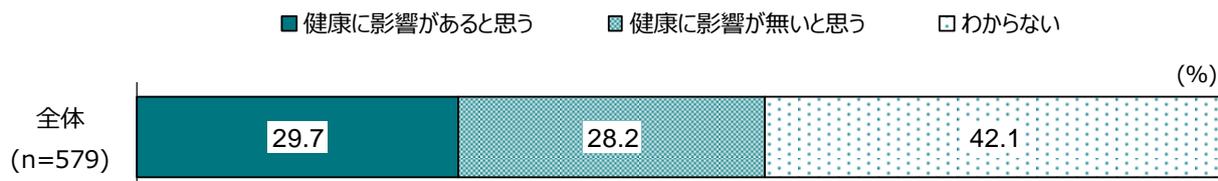
		回答者数 (n)	健康に 影響が あると 思う	健康に 影響が 無いと 思う	わか らな い
全体		579	38.2	20.9	40.9 (%)
料理 頻 度	ほぼ毎日する	100	61.0	19.0	20.0
	週に3～5日する	87	50.6	29.9	19.5
	週に1～2日する	94	46.8	20.2	33.0
	ほとんどしない	298	24.2	19.1	56.7
	《週1日以上》	281	53.0	22.8	24.2

(5) 遺伝子組換え食品についての考え方

Q5 あなたがふだん食べている食事の遺伝子組換え食品について、どのように思いますか。

遺伝子組換え食品については、「健康に影響があると思う」が29.7%、「健康に影響が無いと思う」が28.2%、「わからない」が42.1%であった。

図表 16. 遺伝子組換え食品についての考え方



性別に見ると、男性は「わからない」の割合が35.5%と全体（42.1%）を6.6ポイント下回った。年齢別に見ると、15歳～18歳は「健康に影響があると思う」が23.0%と全体（29.7%）を6.7ポイント下回った。

図表 17. 【性別・年齢別】 遺伝子組換え食品についての考え方

		回答者数 (n)	健康に影響があると思う (%)	健康に影響が無いと思う (%)	わからない (%)
全体		579	29.7	28.2	42.1
性別	男性	265	34.3	30.2	35.5
	女性	291	26.8	27.8	45.4
	答えたくない	23	13.0	8.7	78.3
年齢	15歳～18歳	139	23.0	31.7	45.3
	19歳～22歳	187	28.9	28.3	42.8
	23歳～25歳	253	34.0	26.1	39.9

Q1の料理をする頻度別に見ると、「ほぼ毎日する」人は「健康に影響があると思う」の割合が56.0%と全体（29.7%）を26.3ポイント上回り、「週に3～5日する」人は「健康に影響が無いと思う」が42.5%と全体（28.2%）を14.3ポイント上回った。また、「ほとんどしない」人は「わからない」が57.0%と全体（42.1%）を14.9ポイント上回った。

図表 18. 【料理頻度別】遺伝子組換え食品についての考え方

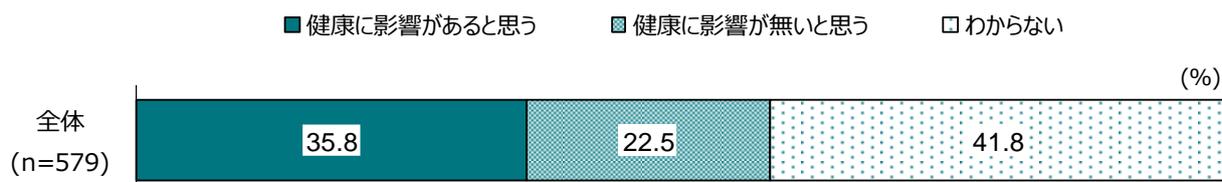
		回答者数 (n)	健康に 影響が あると 思う	健康に 影響が 無いと 思う	わか らない
全 体		579	29.7	28.2	42.1 (%)
料 理 頻 度	ほぼ毎日する	100	56.0	21.0	23.0
	週に3～5日する	87	34.5	42.5	23.0
	週に1～2日する	94	36.2	30.9	33.0
	ほとんどしない	298	17.4	25.5	57.0
	《週1日以上》	281	42.7	31.0	26.3

(6) 放射性物質についての考え方

Q6 あなたがふだん食べている食事の放射性物質について、どのように思いますか。

放射性物質については、「健康に影響があると思う」が 35.8%、「健康に影響が無いと思う」が 22.5%、「わからない」が 41.8%であった。

図表 19. 放射性物質についての考え方



性別に見ると、男性は「健康に影響があると思う」の割合が 42.6%と全体 (35.8%) を 6.8 ポイント上回った。

年齢別に見ると、15歳～18歳は「わからない」が 46.8%と全体 (41.8%) を 5.0 ポイント上回った。

図表 20. 【性別・年齢別】放射性物質についての考え方

		回答者数 (n)	健康に影響があると思う (%)	健康に影響が無いと思う (%)	わからない (%)
全体		579	35.8	22.5	41.8
性別	男性	265	42.6	21.5	35.8
	女性	291	32.0	24.1	44.0
	答えたくない	23	4.3	13.0	82.6
年齢	15歳～18歳	139	33.8	19.4	46.8
	19歳～22歳	187	35.8	24.1	40.1
	23歳～25歳	253	36.8	22.9	40.3

Q1の料理をする頻度別に見ると、《週1回以上》の人は「健康に影響があると思う」の割合が49.5%と全体（35.8%）を13.7ポイント上回り、特に「ほぼ毎日する」人では全体を23.2ポイント上回った。「週に3～5日する」人は「健康に影響が無いと思う」が35.6%と全体（22.5%）を13.1ポイント上回った。また、「ほとんどしない」人では「わからない」が59.1%と全体（41.8%）を17.3ポイント上回った。

図表 21. 【料理頻度別】放射性物質についての考え方

		回答者数 (n)	健康に影響がある と思う	健康に影響が 無いと思う	わからない
全体		579	35.8	22.5	41.8 (%)
料理 頻 度	ほぼ毎日する	100	59.0	19.0	22.0
	週に3～5日する	87	41.4	35.6	23.0
	週に1～2日する	94	46.8	27.7	25.5
	ほとんどしない	298	22.8	18.1	59.1
	《週1日以上》	281	49.5	27.0	23.5

Q2の食品購入時や外食の際に気にしていることの回答結果をQ3～Q6の「食品添加物」、「残留農薬」、「遺伝子組換え食品」、「放射性物質」についての考え方の回答別に見ると、いずれの項目においても健康に影響があるか「わからない」と回答した人は、食品購入時や外食の際に気にしていることについて「特になし」と回答した割合が全体（38.0%）を25ポイント以上上回った。

図表 22. 【食品添加物等についての考え方別】食品購入時や外食の際に気にしていること（3つまで）

	回答者数 (n)	食品価格	食品添加物 (保存料、 着色料等)	脂質の量	食品口入	塩分量	外食時の食品衛生	糖質の量	食中毒	残留農薬	食品表示の偽装	その他	特になし	
全体	579	32.1	13.8	13.5	13.0	13.0	11.2	10.4	9.7	4.1	4.0	1.4	38.0 (%)	
食品添加物 について	健康に影響があると思う	250	44.0	22.4	18.8	17.6	20.8	16.8	16.0	18.4	7.2	8.4	2.4	15.6
	健康に影響が無いと思う	132	28.8	14.4	20.5	15.2	11.4	11.4	10.6	6.1	3.8	1.5	0.8	26.5
	わからない	197	19.3	2.5	2.0	5.6	4.1	4.1	3.0	1.0	0.5	-	0.5	74.1
残留農薬 について	健康に影響があると思う	221	41.2	25.3	17.2	19.9	20.8	16.7	15.8	18.6	7.7	9.0	2.3	14.5
	健康に影響が無いと思う	121	32.2	9.9	19.8	14.0	12.4	14.9	9.9	6.6	5.8	0.8	1.7	30.6
	わからない	237	23.6	5.1	6.8	5.9	5.9	4.2	5.5	3.0	-	0.8	0.4	63.7
遺伝子組換え 食品について	健康に影響があると思う	172	40.1	21.5	19.2	16.9	23.3	14.0	16.9	17.4	9.3	10.5	1.7	14.5
	健康に影響が無いと思う	163	38.0	17.2	17.2	17.8	12.9	18.4	11.0	11.0	4.3	1.2	1.2	23.9
	わからない	244	22.5	6.1	7.0	7.0	5.7	4.5	5.3	3.3	0.4	1.2	1.2	63.9
放射性物質 について	健康に影響があると思う	207	43.0	21.3	17.9	20.3	20.3	17.4	15.9	17.4	6.8	7.2	1.9	14.0
	健康に影響が無いと思う	130	28.5	16.2	17.7	11.5	13.8	16.2	10.8	10.0	7.7	4.6	1.5	27.7
	わからない	242	24.8	6.2	7.4	7.4	6.2	3.3	5.4	2.9	-	0.8	0.8	64.0

(7) 健康食品（サプリメント）に対するイメージ

Q7 あなたが健康食品（サプリメント）について持っているイメージを教えてください。

健康食品（サプリメント）のイメージについては、「良い」と「まあまあ良い」を合計した《良い》が43.7%、「あまり良くない」と「良くない」を合計した《良くない》が23.7%、「どちらともいえない」が32.6%であった。

図表 23. 健康食品（サプリメント）に対するイメージ



性別に見ると、女性は「まあまあ良い」の割合が37.1%と全体（3.2%）を5.1ポイント上回ったが、《良い》では大きな差は見られなかった。

年齢別に見ると、23歳～25歳は「良い」が15.8%と全体（11.7%）を4.1ポイント上回った。

図表 24. 【性別・年齢別】健康食品（サプリメント）に対するイメージ

		回答者数 (n)	良い	まあまあ良い	どちらともいえない	あまり良くない	良くない	《良い》	《良くない》
全体		579	11.7	32.0	32.6	12.6	11.1	43.7	23.7
性別	男性	265	16.2	28.3	35.1	9.4	10.9	44.5	20.4
	女性	291	8.6	37.1	30.6	14.1	9.6	45.7	23.7
	答えたくない	23	-	8.7	30.4	30.4	30.4	8.7	60.9
年齢	15歳～18歳	139	7.9	34.5	30.2	15.8	11.5	42.4	27.3
	19歳～22歳	187	9.1	33.7	32.6	16.0	8.6	42.8	24.6
	23歳～25歳	253	15.8	29.2	34.0	8.3	12.6	45.1	20.9

Q1の料理をする頻度別に見ると、「ほぼ毎日する」人と「週に3～5日する」人では《良い》の割合が全体（43.7%）を20ポイント以上上回った。また、「ほとんどしない」人では《良くない》が34.2%と全体（23.7%）を10.5ポイント上回った。

図表 25. 【料理頻度別】健康食品（サプリメント）に対するイメージ

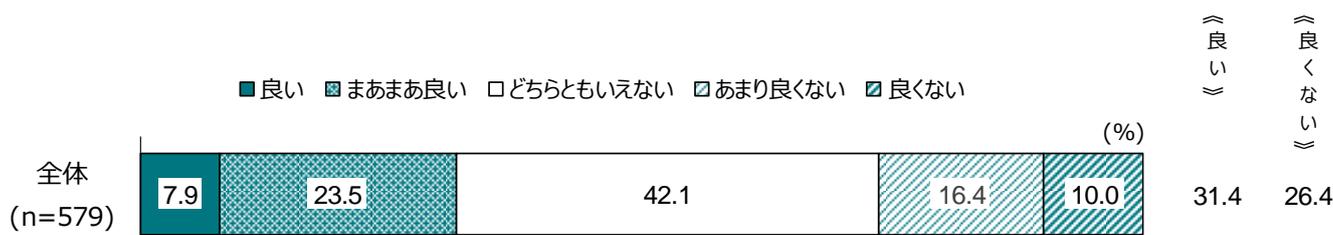
		回答者数 (n)	良い	まあまあ良い	どちらともいえない	あまり良くない	良くない	《良い》	《良くない》
全体		579	11.7	32.0	32.6	12.6	11.1	43.7	23.7 (%)
料理頻度	ほぼ毎日する	100	34.0	30.0	24.0	8.0	4.0	64.0	12.0
	週に3～5日する	87	11.5	55.2	25.3	6.9	1.1	66.7	8.0
	週に1～2日する	94	8.5	40.4	34.0	9.6	7.4	48.9	17.0
	ほとんどしない	298	5.4	23.2	37.2	16.8	17.4	28.5	34.2
	《週1日以上》	281	18.5	41.3	27.8	8.2	4.3	59.8	12.5

(8) 輸入食品に対するイメージ

Q8 あなたが輸入食品について持っているイメージを教えてください。

輸入食品のイメージについては、「良い」と「まあまあ良い」を合計した《良い》が 31.4%、「あまり良くない」と「良くない」を合計した《良くない》が 26.4%、「どちらともいえない」が 42.1%であった。

図表 26. 輸入食品に対するイメージ



性別に見ると、男性は《良い》の割合が 37.4%と全体 (31.4%) を 6.0 ポイント上回った。
 年齢別に見ると、15 歳～18 歳は《良い》が 36.7%と全体 (31.4%) を 5.3 ポイント上回った。

図表 27. 【性別・年齢別】輸入食品に対するイメージ

		回答者数 (n)	良い	まあまあ良い	どちらともいえない	あまり良くない	良くない	《良い》	《良くない》
全体		579	7.9	23.5	42.1	16.4	10.0	31.4	26.4 (%)
性別	男性	265	12.8	24.5	38.9	13.2	10.6	37.4	23.8
	女性	291	4.1	23.7	46.4	17.9	7.9	27.8	25.8
	答えたくない	23	-	8.7	26.1	34.8	30.4	8.7	65.2
年齢	15歳～18歳	139	7.9	28.8	36.7	18.7	7.9	36.7	26.6
	19歳～22歳	187	5.3	25.1	46.0	13.4	10.2	30.5	23.5
	23歳～25歳	253	9.9	19.4	42.3	17.4	11.1	29.2	28.5

Q1の料理をする頻度別に見ると、《週1回以上》の人は《良い》の割合が43.8%と全体(31.4%)を12.4ポイント上回り、特に「ほぼ毎日する」人では52.0%と全体を20.6ポイント上回った。また、「ほとんどしない」人では《良くない》が35.2%と全体(26.4%)を8.8ポイント上回った。

図表 28. 【料理頻度別】輸入食品に対するイメージ

		回答者数 (n)	良い	まあまあ良い	どちらともいえない	あまり良くない	良くない	《良い》	《良くない》
全体		579	7.9	23.5	42.1	16.4	10.0	31.4	26.4
料理頻度	ほぼ毎日する	100	25.0	27.0	34.0	9.0	5.0	52.0	14.0
	週に3～5日する	87	4.6	40.2	39.1	16.1	-	44.8	16.1
	週に1～2日する	94	2.1	31.9	44.7	13.8	7.4	34.0	21.3
	ほとんどしない	298	5.0	14.8	45.0	19.8	15.4	19.8	35.2
	《週1日以上》	281	11.0	32.7	39.1	12.8	4.3	43.8	17.1

3 食中毒に関する知識

(1) 食中毒になった経験

Q9 あなたは、今までに食中毒（食品が原因の体調不良のこと。疑いを含む）になったことがありますか。

食中毒になった経験については、「あった」が19.5%、「なかった」が55.3%、「わからない・覚えていない」が25.2%であった。

図表 29. 食中毒になった経験



性別に見ると、男性は「あった」の割合が26.0%と全体（19.5%）を6.5ポイント上回った。年齢別では大きな差は見られなかった。

図表 30. 【性別・年齢別】食中毒になった経験

		回答者数 (n)	あった	なかった	わからない・覚えていない
全体		579	19.5	55.3	25.2 (%)
性別	男性	265	26.0	54.7	19.2
	女性	291	14.8	58.1	27.1
	答えたくない	23	4.3	26.1	69.6
年齢	15歳～18歳	139	15.1	57.6	27.3
	19歳～22歳	187	19.3	54.0	26.7
	23歳～25歳	253	22.1	54.9	22.9

Q1の料理をする頻度別に見ると、「ほぼ毎日する」人と「週に3～5日」する人は「あった」の割合が全体（19.5%）を10ポイント以上上回り、特に「ほぼ毎日する」人では43.0%と全体を23.5ポイント上回った。また、「ほとんどしない」人は「わからない・覚えていない」が35.2%と全体（25.2%）を10ポイント上回った。

図表 31. 【料理頻度別】食中毒になった経験

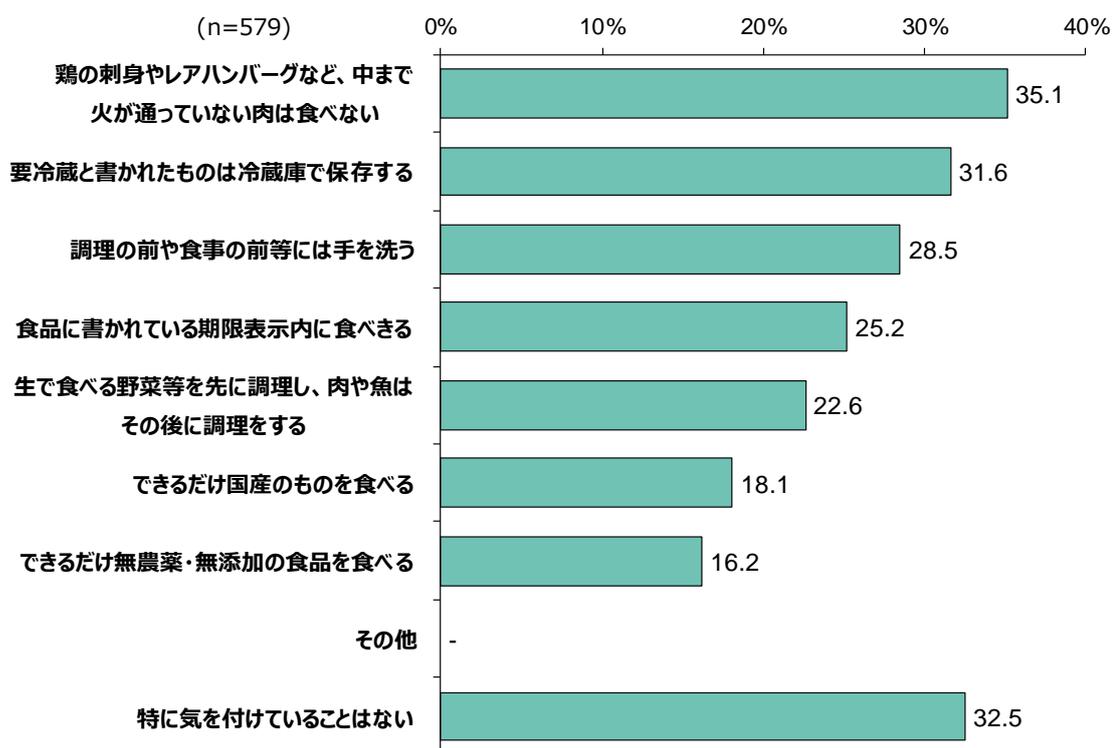
		回答者数 (n)	あった	なかった	わからない・ 覚えていない
全体		579	19.5	55.3	25.2 (%)
料理 頻 度	ほぼ毎日する	100	43.0	44.0	13.0
	週に3～5日する	87	32.2	52.9	14.9
	週に1～2日する	94	19.1	64.9	16.0
	ほとんどしない	298	8.1	56.7	35.2
	《週1日以上》	281	31.7	53.7	14.6

(2) 食中毒予防のために気を付けていること

Q10 あなたが食中毒予防のために特に気を付けていることは何ですか。(複数回答)

食中毒予防のために気を付けていることについては、「鶏の刺身やレアハンバーグなど、中まで火が通っていない肉は食べない」が 35.1%と最も高く、次いで「要冷蔵と書かれたものは冷蔵庫で保存する」が 31.6%、「調理の前や食事の前等には手を洗う」が 28.5%と続いた。なお、「特に気を付けていることはない」は 32.5%であった。

図表 32. 食中毒予防のために気を付けていること (複数回答)



性別に見ると、男性は「できるだけ無農薬・無添加の食品を食べる」の割合が 21.5%と全体 (16.2%) を 5.3 ポイント上回り、女性は「食品に書かれている期限表示内に食べきる」が 30.2%と全体 (25.2%) を 5.0 ポイント上回った。

年齢別に見ると、15歳～18歳は「鶏の刺身やレアハンバーグなど、中まで火が通っていない肉は食べない」、「調理の前や食事の前等には手を洗う」、「食品に書かれている期限表示内に食べきる」の 3 項目がそれぞれ全体 (35.1%、28.5%、25.2%) を 5 ポイント以上上回り、19歳～22歳は「要冷蔵と書かれたものは冷蔵庫で保存する」が全体 (31.6%) を 5.3 ポイント上回った。また、23歳～25歳は「食品に書かれている期限表示内に食べきる」が全体 (25.2%) を 6.6 ポイント下回った。

図表 33. 【性別・年齢別】食中毒予防のために気を付けていること（複数回答）

	回答者数 (n)	鶏の刺身やレアハンバーグなど、中まで火が通っていない肉は食べない	要冷蔵と書かれたものは冷蔵庫で保存する	調理の前や食事の前等には手を洗う	食品に書かれている期限表示内に食べきる	生で食べる野菜等を先に調理し、肉や魚はその後に調理をする	できるだけ国産のものを食べる	できるだけ無農薬・無添加の食品を食べる	その他	特に気を付けていることはない
全体	579	35.1	31.6	28.5	25.2	22.6	18.1	16.2	-	32.5 (%)
性別	男性	265	32.8	26.8	21.1	22.3	20.4	21.5	-	31.3
	女性	291	38.8	36.4	31.3	30.2	24.1	16.5	12.7	30.6
	答えたくない	23	13.0	26.1	13.0	8.7	8.7	13.0	-	69.6
年齢	15歳～18歳	139	40.3	29.5	34.5	30.9	23.0	20.9	14.4	29.5
	19歳～22歳	187	37.4	36.9	27.3	29.9	23.0	20.3	17.1	28.9
	23歳～25歳	253	30.4	28.9	26.1	18.6	22.1	15.0	16.6	36.8

Q1の料理をする頻度別に見ると、「鶏の刺身やレアハンバーグなど、中まで火が通っていない肉は食べない」、「要冷蔵と書かれたものは冷蔵庫で保存する」、「生で食べる野菜等を先に調理し、肉や魚はその後に調理をする」、「できるだけ国産のものを食べる」、「できるだけ無農薬・無添加の食品を食べる」の 5 項目は、「ほとんどしない人」よりも《週1日以上》の人の方が 10 ポイント以上高かった。また、「特に気を付けていることはない」は「ほとんどしない」人の方が 34.1 ポイント高かった。

図表 34. 【料理頻度別】食中毒予防のために気を付けていること（複数回答）

	回答者数 (n)	鶏の刺身やレアハンバーグなど、中まで火が通っていない肉は食べない	要冷蔵と書かれたものは冷蔵庫で保存する	調理の前や食事の前等には手を洗う	食品に書かれている期限表示内に食べきる	生で食べる野菜等を先に調理し、肉や魚はその後に調理をする	できるだけ国産のものを食べる	できるだけ無農薬・無添加の食品を食べる	その他	特に気を付けていることはない
全体	579	35.1	31.6	28.5	25.2	22.6	18.1	16.2	-	32.5 (%)
料理頻度	ほぼ毎日する	100	36.0	36.0	26.0	21.0	31.0	21.0	25.0	21.0
	週に3～5日する	87	37.9	36.8	34.5	25.3	31.0	29.9	28.7	8.0
	週に1～2日する	94	46.8	38.3	35.1	37.2	31.9	23.4	17.0	14.9
	ほとんどしない	298	30.2	26.5	25.5	22.8	14.4	12.1	9.4	49.0
	《週1日以上》	281	40.2	37.0	31.7	27.8	31.3	24.6	23.5	14.9

Q9の食中毒になった経験別に見ると、食中毒になったことが「あった」人は、「その他」と「特に気を付けていることはない」を除いた項目で、全体（35.1%、31.6%、28.5%、25.2%、22.6%、18.1%、16.2%）を10ポイント以上上回った。また、「わからない・覚えていない」と回答した人は「特に気を付けていることはない」が60.3%と全体（32.5%）を27.8ポイント上回った。

図表 35. 【食中毒経験別】食中毒予防のために気を付けていること（複数回答）

		回答者数 (n)	鶏の刺身やレアハンバーグなど、中まで火が通っていない肉は食べない	要冷蔵と書かれたものは冷蔵庫で保存する	調理の前や食事の前には手を洗う	食品に書かれている期限内表示内に食べきる	生で食べる野菜等を先に調理し、肉や魚はその後に調理をする	できるだけ国産のものを食べる	できるだけ無農薬・無添加の食品を食べる	その他	特に気を付けていることはない
全体		579	35.1	31.6	28.5	25.2	22.6	18.1	16.2	-	32.5 (%)
食中毒経験	あった	113	50.4	45.1	41.6	38.1	38.9	30.1	31.0	-	4.4
	なかった	320	37.8	34.7	30.3	26.6	23.1	18.1	15.6	-	29.7
	わからない・覚えていない	146	17.1	14.4	14.4	12.3	8.9	8.9	6.2	-	60.3

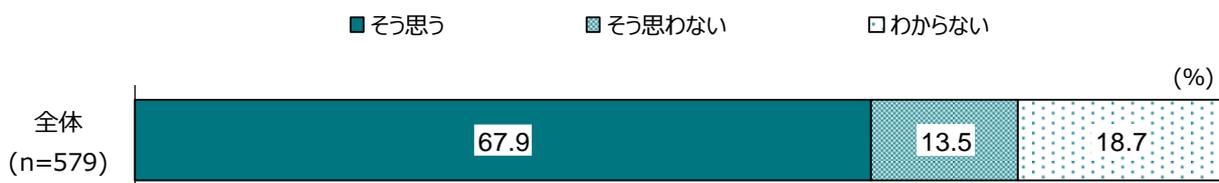
(3) 食中毒に対する認識

Q11 次の内容について、どのように思いますか。

食中毒にかかると、時には死ぬこともある。

[食中毒にかかると、時には死ぬこともある。] については、「そう思う」が67.9%、「そう思わない」が13.5%、「わからない」が18.7%であった。

図表 36. 食中毒に対する認識 [食中毒にかかると、時には死ぬこともある。]



性別、年齢別ともに大きな差は見られなかった。

図表 37. 【性別・年齢別】食中毒に対する認識 [食中毒にかかると、時には死ぬこともある。]

		回答者数 (n)	そう思う	そう思わない	わからない
全体		579	67.9	13.5	18.7 (%)
性別	男性	265	69.4	11.7	18.9
	女性	291	70.4	14.8	14.8
	答えたくない	23	17.4	17.4	65.2
年齢	15歳～18歳	139	72.7	10.8	16.5
	19歳～22歳	187	64.2	13.9	21.9
	23歳～25歳	253	68.0	14.6	17.4

Q1の料理をする頻度別に見ると、《週1回以上》の人は「そう思う」の割合が74.7%と全体(67.9%)を6.8ポイント上回った。また、「ほとんどしない」人は「わからない」が27.5%と全体(18.7%)を8.8ポイント上回った。

図表 38. 【料理頻度別】食中毒に対する認識 [食中毒にかかると、時には死ぬこともある。]

		回答者数 (n)	そう 思う	そう 思わない	わ か ら な い
全 体		579	67.9	13.5	18.7 (%)
料 理 頻 度	ほぼ毎日する	100	74.0	17.0	9.0
	週に3～5日する	87	73.6	20.7	5.7
	週に1～2日する	94	76.6	10.6	12.8
	ほとんどしない	298	61.4	11.1	27.5
	《週1日以上》	281	74.7	16.0	9.3

Q9の食中毒になった経験別に見ると、食中毒になったことが「あった」人は「そう思う」の割合が86.7%と全体(67.9%)を18.8ポイント上回り、「なかった」人でも全体を8.0ポイント上回った。また、「わからない・覚えていない」と回答した人は「わからない」が47.3%と全体(18.7%)を28.6ポイント上回った。

図表 39. 【食中毒経験別】食中毒に対する認識 [食中毒にかかると、時には死ぬこともある。]

		回答者数 (n)	そう 思う	そう 思わない	わ か ら な い
全 体		579	67.9	13.5	18.7 (%)
食 中 毒 経 験	あった	113	86.7	8.8	4.4
	なかった	320	75.9	13.4	10.6
	わからない・覚えていない	146	35.6	17.1	47.3

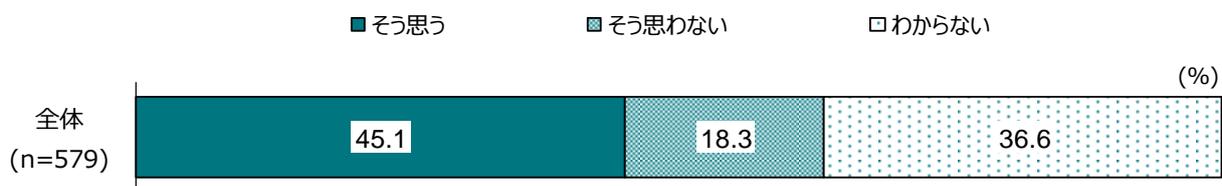
Q12 次の内容について、どのように思いますか。

カビ毒はゆでたり炒めたりするなどの通常の調理方法ではほとんど減らない。

[カビ毒はゆでたり炒めたりするなどの通常の調理方法ではほとんど減らない。] については、「そう思う」が45.1%、「そう思わない」が18.3%、「わからない」が36.6%であった。

図表 40. 食中毒に対する認識

[カビ毒はゆでたり炒めたりするなどの通常の調理方法ではほとんど減らない。]



性別では大きな差は見られなかった。

年齢別に見ると、15歳～18歳は「そう思う」の割合が36.0%と全体（45.1%）を9.1ポイント下回り、「わからない」が44.6%と全体（36.6%）を8.0ポイント上回った。

図表 41. 【性別・年齢別】食中毒に対する認識

[カビ毒はゆでたり炒めたりするなどの通常の調理方法ではほとんど減らない。]

		回答者数 (n)	そう思う	そう思わない	わからない
全体		579	45.1	18.3	36.6 (%)
性別	男性	265	49.1	17.4	33.6
	女性	291	44.7	18.9	36.4
	答えたくない	23	4.3	21.7	73.9
年齢	15歳～18歳	139	36.0	19.4	44.6
	19歳～22歳	187	48.1	16.6	35.3
	23歳～25歳	253	47.8	19.0	33.2

Q1の料理をする頻度別に見ると、「ほぼ毎日する」人は「そう思う」の割合が65.0%と全体(45.1%)を19.9ポイント上回った。「週に3~5日する」人は「そう思わない」が29.9%と全体(18.3%)を11.6ポイント上回った。また、「ほとんどしない」人は「わからない」が49.3%と全体(36.6%)を12.7ポイント上回った。

図表 42. 【料理頻度別】食中毒に対する認識
[カビ毒はゆでたり炒めたりするなどの通常の調理方法ではほとんど減らない。]

		回答者数 (n)	そう 思う	そう 思わ ない	わ か ら な い
全 体		579	45.1	18.3	36.6 (%)
料 理 頻 度	ほぼ毎日する	100	65.0	16.0	19.0
	週に3~5日する	87	52.9	29.9	17.2
	週に1~2日する	94	44.7	22.3	33.0
	ほとんどしない	298	36.2	14.4	49.3
	《週1日以上》	281	54.4	22.4	23.1

Q9の食中毒になった経験別に見ると、食中毒になったことが「あった」人は「そう思う」の割合が68.1%と全体(45.1%)を23.0ポイント上回った。また、「わからない・覚えていない」と回答した人は「わからない」が54.1%と全体(36.6%)を17.5ポイント上回った。

図表 43. 【食中毒経験別】食中毒に対する認識
[カビ毒はゆでたり炒めたりするなどの通常の調理方法ではほとんど減らない。]

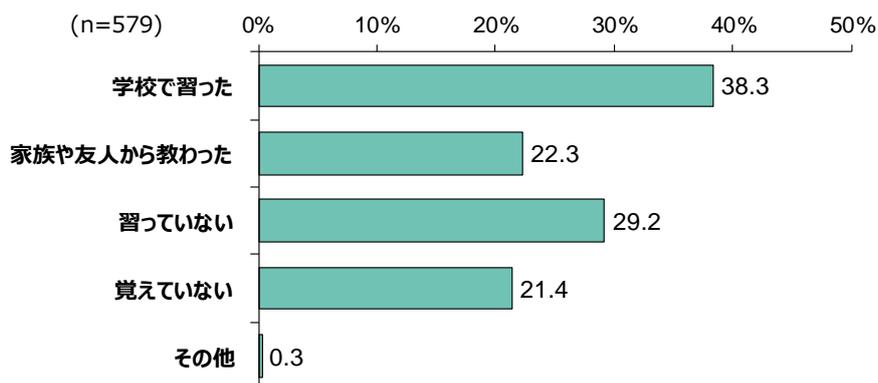
		回答者数 (n)	そう 思う	そう 思わ ない	わ か ら な い
全 体		579	45.1	18.3	36.6 (%)
食 中 毒 経 験	あった	113	68.1	11.5	20.4
	なかった	320	45.3	20.3	34.4
	わからない・覚えていない	146	26.7	19.2	54.1

(4) 食中毒予防についての認知経路

Q13 あなたは、食中毒予防などについて、どこで習いましたか。(複数回答)

食中毒予防についての認知経路については、「学校で習った」が 38.3%、「家族や友人から教わった」が 22.3%であった。なお、「習っていない」は 29.2%、「覚えていない」は 21.4%であった。

図表 44. 食中毒予防についての認知経路 (複数回答)



性別では大きな差は見られなかった。

年齢別に見ると、15歳～18歳と19歳～22歳は「学校で習った」の割合が最も高く、15歳～18歳では52.5%と全体(38.3%)を14.2ポイント上回った。また、23歳～25歳は「習っていない」が最も高く、36.4%と全体(29.2%)を7.2ポイント上回った。

図表 45. 【性別・年齢別】食中毒予防についての認知経路 (複数回答)

		回答者数 (n)	学校で習った	家族や友人から教わった	習っていない	覚えていない	その他
全体		579	38.3	22.3	29.2	21.4	0.3 (%)
性別	男性	265	37.7	25.7	29.1	20.8	-
	女性	291	41.2	20.6	26.1	22.3	0.7
	答えたくない	23	8.7	4.3	69.6	17.4	-
年齢	15歳～18歳	139	52.5	23.7	20.9	16.5	-
	19歳～22歳	187	41.2	23.5	25.7	22.5	-
	23歳～25歳	253	28.5	20.6	36.4	23.3	0.8

Q9の食中毒になった経験別に見ると、食中毒になったことが「あった」人は「学校で習った」と「家族や友人から教わった」の割合が全体（38.3%、22.3%）を20ポイント以上上回った。また、「わからない・覚えていない」と回答した人は「習っていない」が54.1%と全体（29.2%）を24.9ポイント上回った。

図表 46. 【食中毒経験別】食中毒予防についての認知経路（複数回答）

		回答者数 (n)	学校で習った	家族や友人から教わった	習っていない	覚えていない	その他
全体		579	38.3	22.3	29.2	21.4	0.3 (%)
食中毒経験	あった	113	65.5	43.4	6.2	14.2	0.9
	なかった	320	37.8	20.9	25.9	23.4	0.3
	わからない・覚えていない	146	18.5	8.9	54.1	22.6	-

Q2の食品購入時や外食の際に気にしていることの回答結果をQ13の食中毒予防についての認知経路別に見ると、食中毒予防について「習っていない」と回答した人は、食品購入や外食の際に気にしていることについて「特になし」と回答した割合が62.7%と全体（38.0%）を24.7ポイント上回った。

図表 47. 【食中毒予防についての認知経路別】食品購入時や外食の際に気にしていること（3つまで）

		回答者数 (n)	食品価格	食品添加物 (保存料、着色料等)	脂質の量	食品口ス	塩分量	外食時の食品衛生	糖質の量	食中毒	残留農薬	食品表示の偽装	その他	特になし
全体		579	32.1	13.8	13.5	13.0	13.0	11.2	10.4	9.7	4.1	4.0	1.4	38.0 (%)
食中毒予防についての認知経路	学校で習った	222	43.2	23.0	18.5	14.4	15.3	17.1	16.2	16.2	4.1	5.4	2.3	22.5
	家族や友人から教わった	129	41.1	20.9	22.5	19.4	19.4	23.3	10.1	13.2	6.2	7.0	-	20.9
	覚えていない	124	28.2	11.3	10.5	12.1	9.7	4.0	4.8	7.3	7.3	1.6	1.6	39.5
	習っていない	169	18.9	6.5	5.3	7.1	11.2	4.7	7.1	3.0	2.4	3.0	0.6	62.7
	その他	2	100.0	-	100.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-

Q11 と Q12 の食中毒に対する認識の回答結果を Q13 の食中毒予防についての認知経路別に見ると、食中毒予防について「学校で習った」、「家族や友人から教わった」と回答した人は、[食中毒にかかると、時には死ぬこともある。]、[カビ毒はゆでたり炒めたりするなどの通常の調理方法ではほとんど減らない。] いずれにおいても「そう思う」の割合が全体（67.9%、45.1%）を 10 ポイント以上上回り、正しい認識を持つ人の割合が高くなっている。一方、「習っていない」と回答した人は、いずれにおいても「わからない」が全体（18.7%、36.6%）を 10 ポイント以上上回り、「そう思う」は全体（67.9%、45.1%）を 20 ポイント以上下回った。

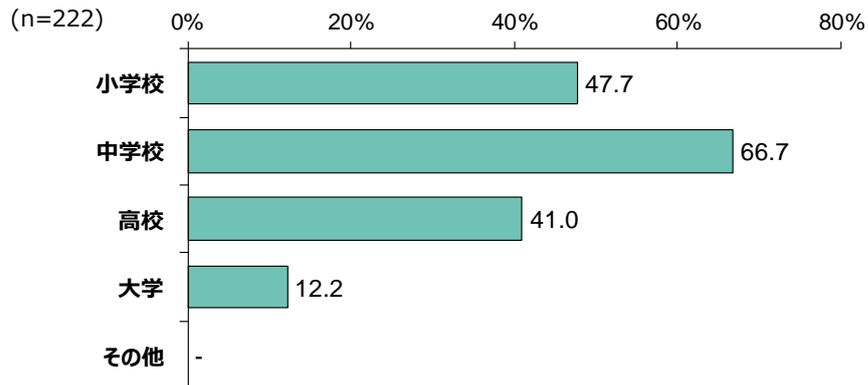
図表 48. 【食中毒予防についての認知経路別】食中毒に対する認識

	回答者数 (n)	食中毒にかかると、 時には死ぬこともある			カビ毒はゆでたり炒めたり するなどの通常の調理 方法ではほとんど減らない			
		そう 思う	そう 思わ ない	わ か ら ない	そう 思う	そう 思わ ない	わ か ら ない	
全 体	579	67.9	13.5	18.7	45.1	18.3	36.6 (%)	
食 中 毒 予 防 に 関 する 認 知 経 路	学校で習った	222	88.3	5.9	5.9	59.5	13.5	27.0
	家族や友人から教わった	129	87.6	9.3	3.1	58.1	17.8	24.0
	覚えていない	124	65.3	13.7	21.0	44.4	14.5	41.1
	習っていない	169	38.5	22.5	39.1	23.7	25.4	50.9
	その他	2	100.0	-	-	100.0	-	-

Q14 Q13で「学校で習った」と答えた方にうかがいます。
食中毒予防などについて、どこで習いましたか。(複数回答)

「学校で習った」と回答した人に、具体的な認知経路についてたずねたところ、「中学校」が66.7%と最も高く、次いで「小学校」が47.7%、「高校」が41.0%、「大学」が12.2%と続いた。

図表 49. 食中毒予防についての認知経路 (複数回答)



性別に見ると、「中学校」の割合は、男性が60.0%と全体(66.7%)を6.7ポイント下回り、女性が71.7%と全体を5.0ポイント上回った。

年齢別に見ると、15歳～18歳は「中学校」が86.3%と全体(66.7%)を19.6ポイント上回った。また、23歳～25歳は「中学校」が47.2%と全体(66.7%)を19.5ポイント下回り、「大学」が20.8%と全体(12.2%)を8.6ポイント上回った。

図表 50. 【性別・年齢別】食中毒予防についての認知経路 (複数回答)

		回答者数 (n)	小学校	中学校	高校	大学	その他
全体		222	47.7	66.7	41.0	12.2	- (%)
性別	男性	100	52.0	60.0	43.0	14.0	-
	女性	120	43.3	71.7	40.0	10.8	-
	答えたくない	2	100.0	100.0	-	-	-
年齢	15歳～18歳	73	43.8	86.3	47.9	1.4	-
	19歳～22歳	77	45.5	66.2	40.3	14.3	-
	23歳～25歳	72	54.2	47.2	34.7	20.8	-

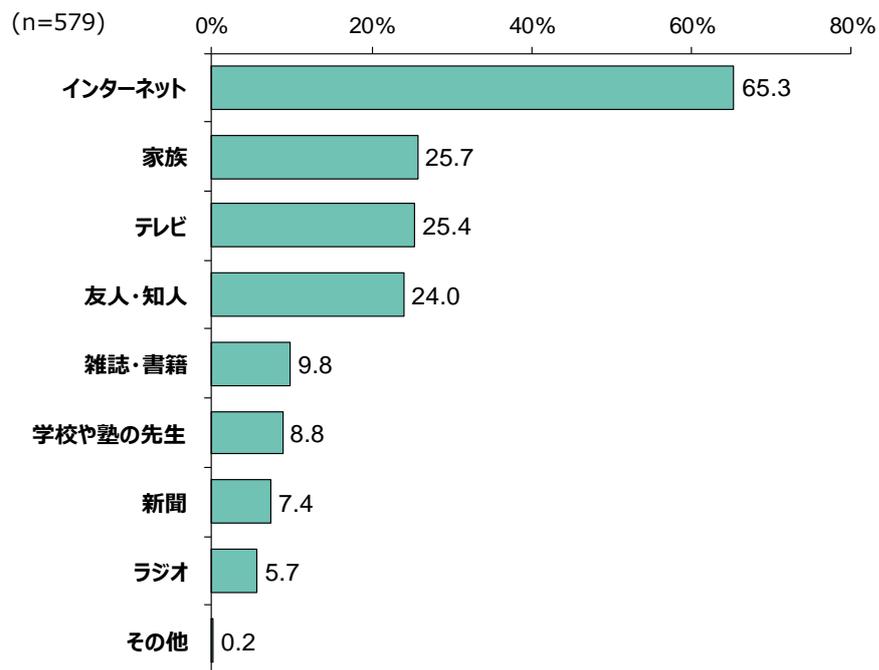
4 食品安全に関する情報収集について

(1) 情報入手手段

Q15 あなたはふだん、何かを調べようとするときに、どのような手段をよく利用しますか。
(複数回答)

何かを調べようとするときの情報入手手段については、「インターネット」が65.3%と最も高く、次いで「家族」が25.7%、「テレビ」が25.4%、「友人・知人」が24.0%と続いた。

図表 51. 情報入手手段（複数回答）



性別に見ると、女性は「インターネット」の割合が70.8%と全体（65.3%）を5.5ポイント上回った。

年齢別に見ると、15歳～18歳は「インターネット」が77.0%と全体（65.3%）を11.7ポイント上回り、「家族」が33.1%と全体（25.7%）を7.4ポイント上回った。また、23歳～25歳は「インターネット」が60.1%、「家族」が19.4%とそれぞれ全体（65.3%、25.7%）を5ポイント以上下回った。

図表 52. 【性別・年齢別】情報入手手段（複数回答）

		回答者数 (n)	インターネット	家族	テレビ	友人・知人	雑誌・書籍	学校や塾の先生	新聞	ラジオ	その他
全体		579	65.3	25.7	25.4	24.0	9.8	8.8	7.4	5.7	0.2 (%)
性別	男性	265	61.5	27.9	25.7	28.3	11.7	10.6	10.2	7.9	-
	女性	291	70.8	25.4	25.4	21.0	8.6	7.2	4.8	3.4	-
	答えたくない	23	39.1	4.3	21.7	13.0	4.3	8.7	8.7	8.7	4.3
年齢	15歳～18歳	139	77.0	33.1	23.7	27.3	6.5	12.9	7.2	2.2	-
	19歳～22歳	187	63.6	28.9	26.7	26.2	10.2	8.0	5.3	7.0	0.5
	23歳～25歳	253	60.1	19.4	25.3	20.6	11.5	7.1	9.1	6.7	-

性／年齢別に見ると、女性15歳～18歳は「インターネット」が84.8%と全体（65.3%）を19.5ポイント上回り、「家族」と「学校や塾の先生」でも全体（25.7%、8.8%）を5ポイント以上上回った。男性15歳～18歳は「家族」と「友人・知人」が全体（25.7%、24.0%）を5ポイント以上上回り、男性23歳～25歳は「ラジオ」が全体（5.7%）を5.0ポイント上回った。また、女性19歳～22歳は「家族」が全体（25.7%）を5.0ポイント上回った。

図表 53. 【性／年齢別】情報入手手段（複数回答）

		回答者数 (n)	インターネット	家族	テレビ	友人・知人	雑誌・書籍	学校や塾の先生	新聞	ラジオ	その他
全体		579	65.3	25.7	25.4	24.0	9.8	8.8	7.4	5.7	0.2 (%)
性／年齢	男性15歳～18歳	54	68.5	33.3	24.1	33.3	9.3	11.1	11.1	5.6	-
	男性19歳～22歳	89	64.0	30.3	30.3	28.1	12.4	7.9	6.7	5.6	-
	男性23歳～25歳	122	56.6	23.8	23.0	26.2	12.3	12.3	12.3	10.7	-
	女性15歳～18歳	79	84.8	34.2	22.8	25.3	5.1	15.2	5.1	-	-
	女性19歳～22歳	88	67.0	30.7	23.9	26.1	8.0	6.8	4.5	6.8	-
	女性23歳～25歳	124	64.5	16.1	28.2	14.5	11.3	2.4	4.8	3.2	-
	性別：答えたくない	23	39.1	4.3	21.7	13.0	4.3	8.7	8.7	8.7	4.3

職業別に見ると、「高校生」は「インターネット」が78.2%と全体（65.3%）を12.9ポイント上回り、「家族」も全体（25.7%）を8.2ポイント上回った。「パート・アルバイト」は「インターネット」、「家族」、「友人・知人」でそれぞれ全体（65.3%、25.7%、24.0%）を10ポイント以上下回った。

図表 54. 【職業別】情報入手手段（複数回答）

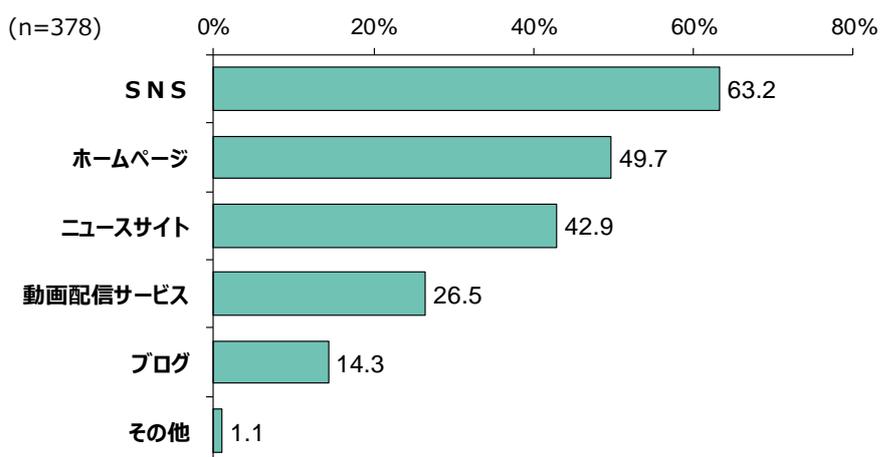
	回答者数 (n)	インターネット	家族	テレビ	友人・知人	雑誌・書籍	学校や塾の先生	新聞	ラジオ	その他	
全体	579	65.3	25.7	25.4	24.0	9.8	8.8	7.4	5.7	0.2 (%)	
職業	高校生	124	78.2	33.9	24.2	27.4	5.6	10.5	5.6	2.4	-
	大学生・大学院生	190	65.8	30.0	26.3	28.9	13.7	10.5	6.3	7.9	-
	短大生・専門学校生	17	41.2	5.9	17.6	17.6	11.8	17.6	23.5	5.9	-
	会社員・公務員・自営業	146	60.3	21.2	21.9	27.4	9.6	7.5	8.9	5.5	-
	パート・アルバイト	86	54.7	15.1	30.2	7.0	7.0	4.7	8.1	7.0	1.2
	その他	16	87.5	31.3	37.5	6.3	12.5	-	-	-	-

(2) インターネットにおける情報源

Q16 Q15で「インターネット」と回答した方にうかがいます。
 具体的には、どこから情報を得ていますか。(複数回答)

情報入手手段として「インターネット」と回答した方に、具体的な情報源についてたずねたところ、「SNS」が63.2%と最も高く、次いで「ホームページ」が49.7%、「ニュースサイト」が42.9%、「動画配信サービス」が26.5%と続いた。

図表 55. インターネットにおける情報源 (複数回答)



性別に見ると、男性は「動画配信サービス」の割合が37.4%と全体(26.5%)を10.9ポイント上回り、「ニュースサイト」が49.7%と全体(42.9%)を6.8ポイント上回った。また、「SNS」は男性が57.7%と全体(63.2%)を5.5ポイント下回った。

年齢別に見ると、15歳~18歳は「SNS」が71.0%と全体(63.2%)を7.8ポイント上回り、19歳~22歳は「動画配信サービス」が32.8%と全体(26.5%)を6.3ポイント上回った。また、23歳~25歳は「ニュースサイト」が48.0%と全体(42.9%)を5.1ポイント上回った。

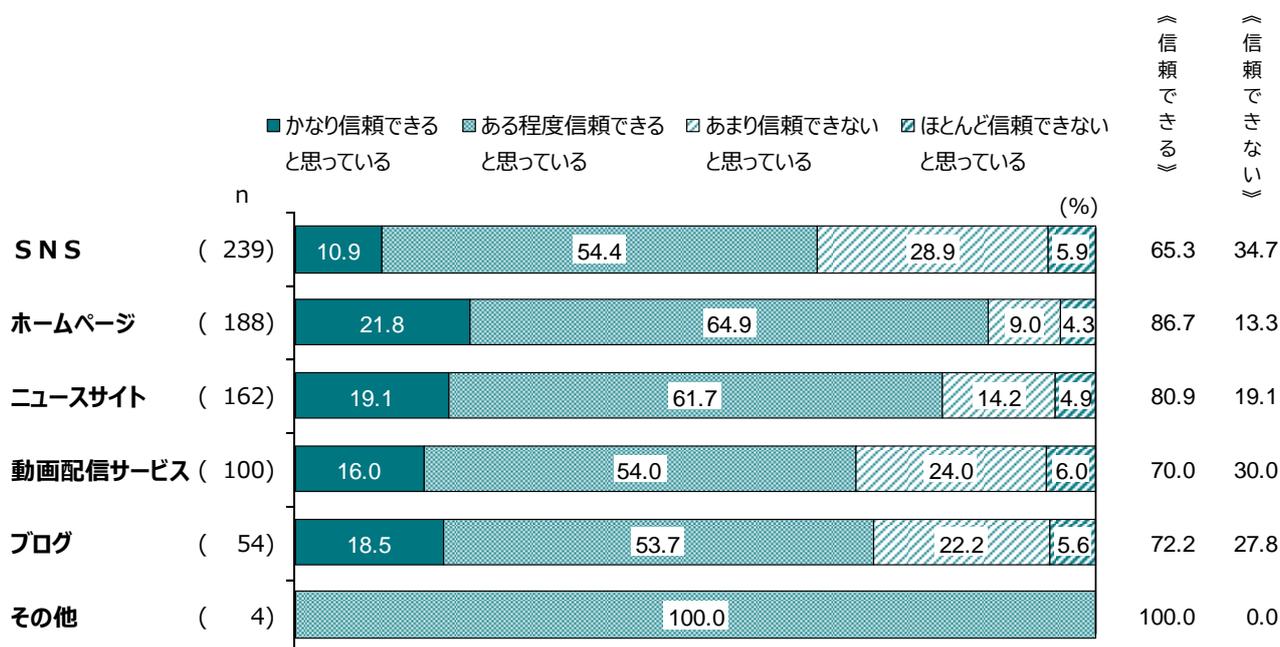
図表 56. 【性別・年齢別】インターネットにおける情報源 (複数回答)

		回答者数 (n)	SNS	ホームページ	ニュースサイト	動画配信サービス	ブログ	その他
全体		378	63.2	49.7	42.9	26.5	14.3	1.1 (%)
性別	男性	163	57.7	53.4	49.7	37.4	16.0	1.2
	女性	206	68.0	47.1	37.4	18.0	12.6	1.0
	答えたくない	9	55.6	44.4	44.4	22.2	22.2	-
年齢	15歳~18歳	107	71.0	42.1	40.2	21.5	9.3	0.9
	19歳~22歳	119	63.9	51.3	38.7	32.8	13.4	-
	23歳~25歳	152	57.2	53.9	48.0	25.0	18.4	2.0

Q17 Q16 で選んだものについて、そこからの情報は信頼できると思っていますか。

インターネットにおける情報源の信頼度については、いずれの情報源も「ある程度信頼できている」と思っているが50%を上回った。また、「かなり信頼できている」と「ある程度信頼できている」を合計した《信頼できる》の割合は「ホームページ」が86.7%と最も高く、次いで「ニュースサイト」が80.9%、「ブログ」が72.2%、「動画配信サービス」が70.0%、「SNS」が65.3%であった。

図表 57. インターネットにおける情報源の信頼度



※「その他」は回答者数が少ないため、参考値としての掲載に留める。

① SNS

「SNS」について、性別では大きな差は見られなかった。

年齢別に見ると、23歳～25歳は「かなり信頼できている」の割合が18.4%と全体（10.9%）を7.5ポイント上回った。

図表 58. 【性別・年齢別】インターネットにおける情報源の信頼度 [SNS]

		回答者数 (n)	かなり信頼できている 思っている	ある程度信頼できている 思っている	あまり信頼できないと 思っている	ほとんど信頼できない と 思っている	《信頼できる》	《信頼できない》
全体		239	10.9	54.4	28.9	5.9	65.3	34.7 (%)
性別	男性	94	13.8	50.0	29.8	6.4	63.8	36.2
	女性	140	9.3	58.6	26.4	5.7	67.9	32.1
	答えたくない	5	-	20.0	80.0	-	20.0	80.0
年齢	15歳～18歳	76	6.6	60.5	25.0	7.9	67.1	32.9
	19歳～22歳	76	6.6	53.9	35.5	3.9	60.5	39.5
	23歳～25歳	87	18.4	49.4	26.4	5.7	67.8	32.2

② ホームページ

「ホームページ」について、性別に見ると、《信頼できる》の割合は女性が92.8%と全体（86.7%）を6.1ポイント上回った。

年齢別に見ると、《信頼できる》の割合は15歳～18歳が93.3%と全体（86.7%）を6.6ポイント上回った。

図表 59. 【性別・年齢別】インターネットにおける情報源の信頼度 [ホームページ]

		回答者数 (n)	かなり信頼できている 思っている	ある程度信頼できている 思っている	あまり信頼できないと 思っている	ほとんど信頼できない と 思っている	《信頼できる》	《信頼できない》
全体		188	21.8	64.9	9.0	4.3	86.7	13.3 (%)
性別	男性	87	23.0	57.5	11.5	8.0	80.5	19.5
	女性	97	20.6	72.2	6.2	1.0	92.8	7.2
	答えたくない	4	25.0	50.0	25.0	-	75.0	25.0
年齢	15歳～18歳	45	24.4	68.9	2.2	4.4	93.3	6.7
	19歳～22歳	61	18.0	72.1	9.8	-	90.2	9.8
	23歳～25歳	82	23.2	57.3	12.2	7.3	80.5	19.5

③ ニュースサイト

「ニュースサイト」について、性別に見ると、《信頼できる》の割合は男性が 87.7%と全体 (80.9%) を 6.8 ポイント上回った。

年齢別に見ると、15 歳～18 歳は「かなり信頼できている」の割合が 32.6%と全体 (19.1%) を 13.5 ポイント上回った。

図表 60. 【性別・年齢別】インターネットにおける情報源の信頼度 [ニュースサイト]

		回答者数 (n)	かなり信頼できている 思っている	ある程度信頼できている 思っている	あまり信頼できないと 思っている	ほとんど信頼できない と思っている	《信頼できる》	《信頼できない》
全体		162	19.1	61.7	14.2	4.9	80.9	19.1 (%)
性別	男性	81	21.0	66.7	7.4	4.9	87.7	12.3
	女性	77	18.2	57.1	19.5	5.2	75.3	24.7
	答えたくない	4	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0
年齢	15歳～18歳	43	32.6	53.5	11.6	2.3	86.0	14.0
	19歳～22歳	46	15.2	69.6	13.0	2.2	84.8	15.2
	23歳～25歳	73	13.7	61.6	16.4	8.2	75.3	24.7

④ 動画配信サービス

「動画配信サービス」について、性別に見ると、《信頼できない》の割合は女性が 35.1%と全体 (30.0%) を 5.1 ポイント上回った。

年齢別では大きな差は見られなかった。

図表 61. 【性別・年齢別】インターネットにおける情報源の信頼度 [動画配信サービス]

		回答者数 (n)	かなり信頼できている 思っている	ある程度信頼できている 思っている	あまり信頼できないと 思っている	ほとんど信頼できない と思っている	《信頼できる》	《信頼できない》
全体		100	16.0	54.0	24.0	6.0	70.0	30.0 (%)
性別	男性	61	19.7	54.1	18.0	8.2	73.8	26.2
	女性	37	10.8	54.1	32.4	2.7	64.9	35.1
	答えたくない	2	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0
年齢	15歳～18歳	23	13.0	60.9	26.1	-	73.9	26.1
	19歳～22歳	39	15.4	51.3	25.6	7.7	66.7	33.3
	23歳～25歳	38	18.4	52.6	21.1	7.9	71.1	28.9

⑤ ブログ

「ブログ」については回答者数が少ないため、参考値としての掲載に留める。

図表 62. 【性別・年齢別】インターネットにおける情報源の信頼度【ブログ】

		回答者数 (n)	かなり信頼できると 思っている	ある程度信頼できると 思っている	あまり信頼できないと 思っている	ほとんど信頼できない と思っっている	《信頼できる》	《信頼できない》
全体		54	18.5	53.7	22.2	5.6	72.2	27.8 (%)
性別	男性	26	15.4	57.7	15.4	11.5	73.1	26.9
	女性	26	23.1	50.0	26.9	-	73.1	26.9
	答えたくない	2	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0
年齢	15歳～18歳	10	30.0	50.0	10.0	10.0	80.0	20.0
	19歳～22歳	16	6.3	62.5	25.0	6.3	68.8	31.3
	23歳～25歳	28	21.4	50.0	25.0	3.6	71.4	28.6

⑥ その他

「その他」については回答者数が少ないため、参考値としての掲載に留める。

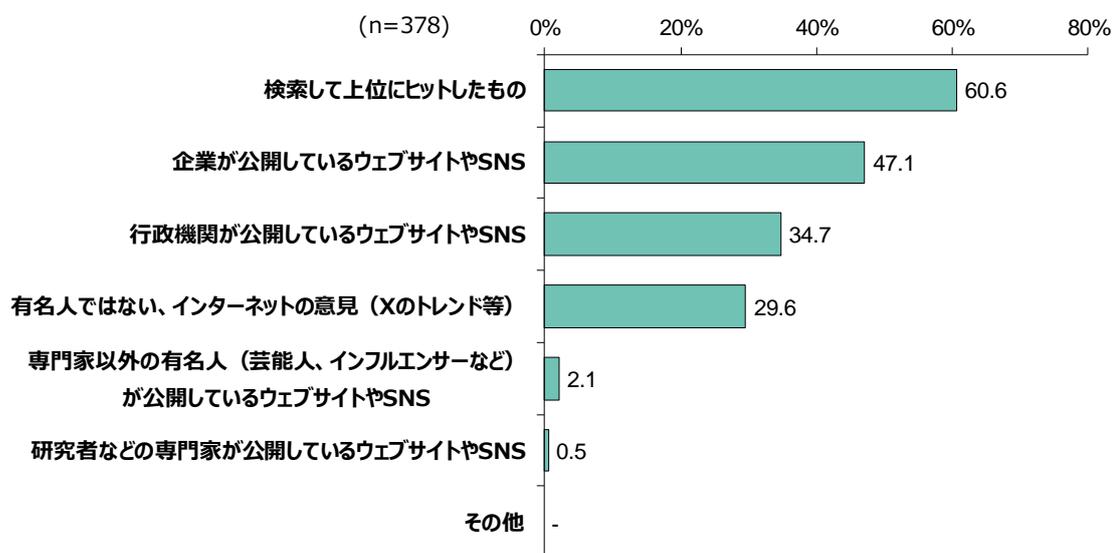
図表 63. 【性別・年齢別】インターネットにおける情報源の信頼度【その他】

		回答者数 (n)	かなり信頼できると 思っている	ある程度信頼できると 思っている	あまり信頼できないと 思っている	ほとんど信頼できない と思っっている	《信頼できる》	《信頼できない》
全体		4	-	100.0	-	-	100.0	- (%)
性別	男性	2	-	100.0	-	-	100.0	-
	女性	2	-	100.0	-	-	100.0	-
	答えたくない	0	-	-	-	-	-	-
年齢	15歳～18歳	1	-	100.0	-	-	100.0	-
	19歳～22歳	0	-	-	-	-	-	-
	23歳～25歳	3	-	100.0	-	-	100.0	-

Q18 Q15で「インターネット」と回答した方にうかがいます。
具体的には、どのようなウェブサイトやSNSから情報を得ていますか。(複数回答)

情報入手手段として「インターネット」と回答した方に、具体的なウェブサイトやSNSについてたずねたところ、「検索して上位にヒットしたもの」が60.6%と最も高く、次いで「企業が公開しているウェブサイトやSNS」が47.1%、「行政機関が公開しているウェブサイトやSNS」が34.7%、「有名人ではない、インターネットの意見(Xのトレンド等)」が29.6%と続いた。

図表 64. 情報を得ているウェブサイトやSNS (複数回答)



性別に見ると、男性は「行政機関が公開しているウェブサイトや SNS」が 40.5%と全体（34.7%）を 5.8 ポイント上回った。

年齢別では大きな差は見られなかった。

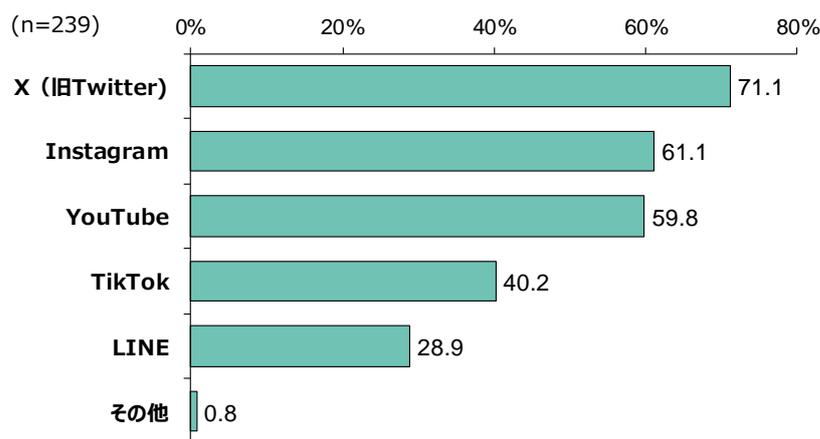
図表 65. 【性別・年齢別】情報を得ているウェブサイトや SNS（複数回答）

		回答者数 (n)	検索して上位にヒットしたもの	企業が公開しているウェブサイトや SNS	行政機関が公開しているウェブサイトや SNS	有名人ではない、インターネットの意見 (X のトレンド等)	専門家以外の有名人 (芸能人、インフルエンサーなど) が公開しているウェブサイトや SNS	研究者などの専門家が公開しているウェブサイトや SNS	その他
全体		378	60.6	47.1	34.7	29.6	2.1	0.5	- (%)
性別	男性	163	55.8	50.3	40.5	28.2	1.2	0.6	-
	女性	206	64.6	43.7	30.1	30.6	2.9	0.5	-
	答えたくない	9	55.6	66.7	33.3	33.3	-	-	-
年齢	15歳～18歳	107	63.6	48.6	32.7	30.8	2.8	0.9	-
	19歳～22歳	119	63.0	47.1	38.7	29.4	2.5	0.8	-
	23歳～25歳	152	56.6	46.1	32.9	28.9	1.3	-	-

Q19 Q16で「SNS」と回答した方にうかがいます。
 具体的には、どの媒体から情報を得ていますか。(複数回答)

インターネットにおける情報源として「SNS」と回答した方に、具体的な SNS の種類についてたずねたところ、「X (旧Twitter)」が71.1%と最も高く、次いで「Instagram」が61.1%、「YouTube」が59.8%、「TikTok」が40.2%と続いた。

図表 66. 情報を得ている SNS (複数回答)



性別に見ると、男性は「YouTube」が73.4%と全体(59.8%)を13.6ポイント上回り、「X(旧Twitter)」と「LINE」も全体(71.1%、28.9%)を5ポイント以上上回った。女性は「TikTok」が47.9%と全体(40.2%)を7.7ポイント上回った。

年齢別に見ると、15歳～18歳は「TikTok」が48.7%と全体(40.2%)を8.5ポイント上回った。19歳～22歳は「YouTube」が65.8%と全体(59.8%)を6.0ポイント上回った。23歳～25歳は「X(旧Twitter)」と「LINE」がそれぞれ全体(71.1%、28.9%)を5ポイント以上上回った。

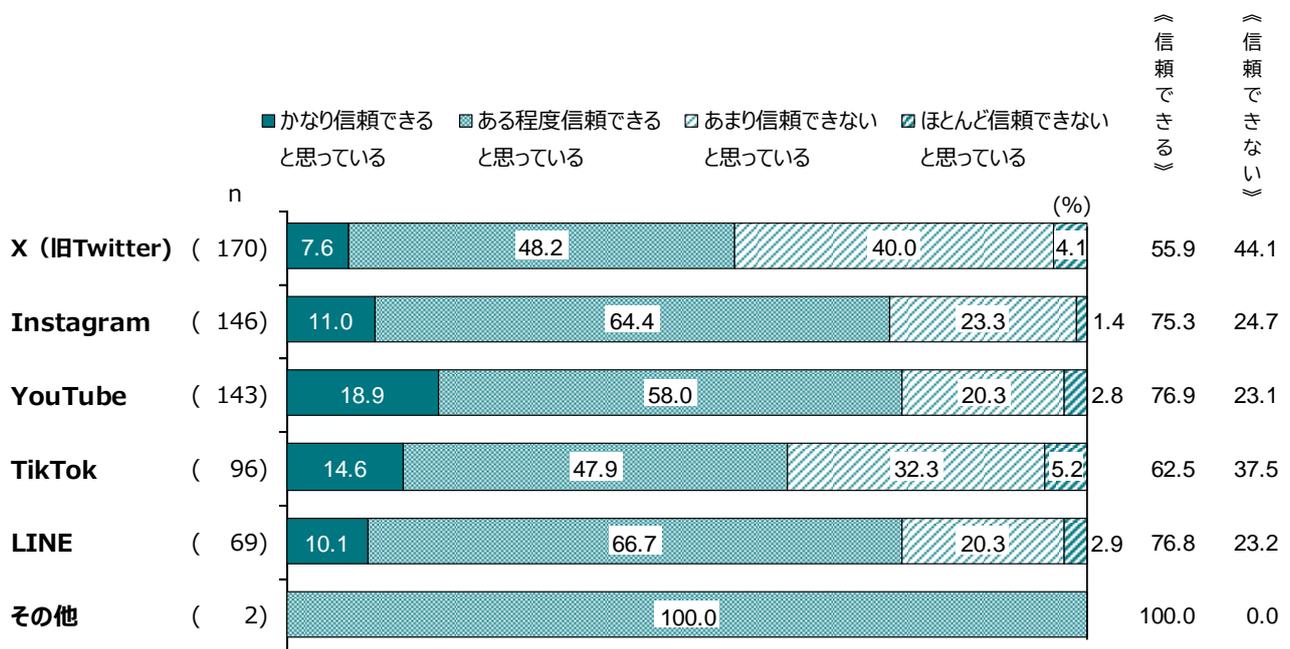
図表 67. 【性別・年齢別】情報を得ている SNS (複数回答)

		回答者数 (n)	X (旧Twitter)	Instagram	YouTube	TikTok	LINE	その他
全体		239	71.1	61.1	59.8	40.2	28.9	0.8 (%)
性別	男性	94	77.7	54.3	73.4	28.7	35.1	-
	女性	140	66.4	65.7	50.7	47.9	25.0	1.4
	答えたくない	5	80.0	60.0	60.0	40.0	20.0	-
年齢	15歳～18歳	76	61.8	60.5	57.9	48.7	23.7	2.6
	19歳～22歳	76	72.4	59.2	65.8	39.5	26.3	-
	23歳～25歳	87	78.2	63.2	56.3	33.3	35.6	-

Q20 Q19 で選んだものについて、そこからの情報は信頼できると思っていますか。

SNS から得られる情報の信頼度については、いずれの SNS も「ある程度信頼できている」が最も高くなっているが、「X (旧 Twitter)」と「TikTok」は「ある程度信頼できている」が 50%を下回り、やや低い傾向が見られた。また、「かなり信頼できている」と「ある程度信頼できている」を合計した《信頼できる》の割合は「YouTube」が 76.9%と最も高く、次いで、「LINE」が 76.8%、「Instagram」が 75.3%、「TikTok」が 62.5%、「X (旧 Twitter)」が 55.9%であった。

図表 68. SNS の信頼度



※「その他」は回答者数が少ないため、参考値としての掲載に留める。

① X (旧 Twitter)

「X (旧 Twitter)」について、性別に見ると、《信頼できる》の割合は男性が 65.8%と全体 (55.9%) を 9.9 ポイント上回った。

年齢別に見ると、19歳～22歳は「ある程度信頼できている」の割合が全体 (48.2%) を 6.3 ポイント上回ったが、《信頼できる》の割合では大きな差は見られなかった。

図表 69. 【性別・年齢別】 SNS の信頼度 [X (旧 Twitter)]

		回答者数 (n)	かなり信頼できている	ある程度信頼できている	あまり信頼できない	ほとんど信頼できない	《信頼できる》	《信頼できない》
全体		170	7.6	48.2	40.0	4.1	55.9	44.1
性別	男性	73	12.3	53.4	28.8	5.5	65.8	34.2
	女性	93	4.3	45.2	47.3	3.2	49.5	50.5
	答えたくない	4	-	25.0	75.0	-	25.0	75.0
年齢	15歳～18歳	47	6.4	46.8	44.7	2.1	53.2	46.8
	19歳～22歳	55	3.6	54.5	36.4	5.5	58.2	41.8
	23歳～25歳	68	11.8	44.1	39.7	4.4	55.9	44.1

② Instagram

「Instagram」について、性別に見ると、男性は「かなり信頼できている」の割合が 17.6%と全体 (11.0%) を 6.6 ポイント上回ったが、《信頼できる》の割合では大きな差は見られなかった。

年齢別に見ると、15歳～18歳と19歳～22歳は《信頼できる》の割合が全体 (75.3%) を 5 ポイント以上上回ったが、23歳～25歳は《信頼できない》の割合が 38.2%と全体 (24.7%) を 13.5 ポイント上回った。

図表 70. 【性別・年齢別】 SNS の信頼度 [Instagram]

		回答者数 (n)	かなり信頼できている	ある程度信頼できている	あまり信頼できない	ほとんど信頼できない	《信頼できる》	《信頼できない》
全体		146	11.0	64.4	23.3	1.4	75.3	24.7
性別	男性	51	17.6	58.8	23.5	-	76.5	23.5
	女性	92	7.6	68.5	21.7	2.2	76.1	23.9
	答えたくない	3	-	33.3	66.7	-	33.3	66.7
年齢	15歳～18歳	46	10.9	71.7	17.4	-	82.6	17.4
	19歳～22歳	45	6.7	77.8	15.6	-	84.4	15.6
	23歳～25歳	55	14.5	47.3	34.5	3.6	61.8	38.2

③ YouTube

「YouTube」について、性別に見ると、女性は「ある程度信頼できている」との割合が66.2%と全体（58.0%）を8.2ポイント上回った。

年齢別では大きな差は見られなかった。

図表 71. 【性別・年齢別】SNSの信頼度 [YouTube]

		回答者数 (n)	かなり信頼できている	ある程度信頼できている	あまり信頼できない	ほとんど信頼できない	《信頼できる》	《信頼できない》
全体		143	18.9	58.0	20.3	2.8	76.9	23.1
性別	男性	69	23.2	49.3	24.6	2.9	72.5	27.5
	女性	71	15.5	66.2	15.5	2.8	81.7	18.3
	答えたくない	3	-	66.7	33.3	-	66.7	33.3
年齢	15歳～18歳	44	18.2	56.8	22.7	2.3	75.0	25.0
	19歳～22歳	50	16.0	62.0	18.0	4.0	78.0	22.0
	23歳～25歳	49	22.4	55.1	20.4	2.0	77.6	22.4

④ TikTok

「TikTok」について、性別では大きな差は見られなかった。

年齢別に見ると、《信頼できる》の割合は19歳～22歳で70.0%と全体（62.5%）を7.5ポイント上回った。

図表 72. 【性別・年齢別】SNSの信頼度 [TikTok]

		回答者数 (n)	かなり信頼できている	ある程度信頼できている	あまり信頼できない	ほとんど信頼できない	《信頼できる》	《信頼できない》
全体		96	14.6	47.9	32.3	5.2	62.5	37.5
性別	男性	27	22.2	51.9	22.2	3.7	74.1	25.9
	女性	67	11.9	47.8	34.3	6.0	59.7	40.3
	答えたくない	2	-	-	100.0	-	-	100.0
年齢	15歳～18歳	37	13.5	51.4	29.7	5.4	64.9	35.1
	19歳～22歳	30	16.7	53.3	26.7	3.3	70.0	30.0
	23歳～25歳	29	13.8	37.9	41.4	6.9	51.7	48.3

⑤ LINE

「LINE」について、性別に見ると、男性は「かなり信頼できていると思っている」の割合が全体（10.1%）を5.1ポイント上回ったが、《信頼できる》の割合では大きな差は見られなかった。

年齢別に見ると、23歳～25歳は《信頼できない》の割合が29.0%と全体（23.2%）を5.8ポイント上回った。

図表 73. 【性別・年齢別】SNSの信頼度 [LINE]

		回答者数 (n)	かなり信頼できている 思っている	ある程度信頼できている 思っている	あまり信頼できないと 思っている	ほとんど信頼できない 思っている	《信頼できる》	《信頼できない》
全体		69	10.1	66.7	20.3	2.9	76.8	23.2 (%)
性別	男性	33	15.2	63.6	18.2	3.0	78.8	21.2
	女性	35	5.7	71.4	20.0	2.9	77.1	22.9
	答えたくない	1	-	-	100.0	-	-	100.0
年齢	15歳～18歳	18	16.7	66.7	11.1	5.6	83.3	16.7
	19歳～22歳	20	5.0	75.0	15.0	5.0	80.0	20.0
	23歳～25歳	31	9.7	61.3	29.0	-	71.0	29.0

⑥ その他

「その他」については回答者数が少ないため、参考値としての掲載に留める。

図表 74. 【性別・年齢別】SNSの信頼度 [その他]

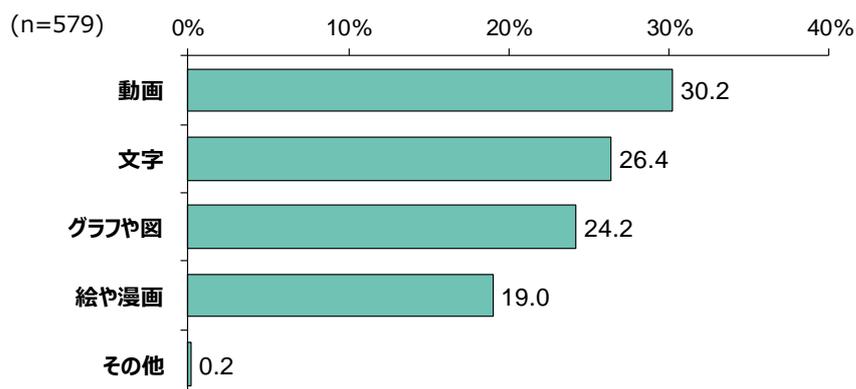
		回答者数 (n)	かなり信頼できている 思っている	ある程度信頼できている 思っている	あまり信頼できないと 思っている	ほとんど信頼できない 思っている	《信頼できる》	《信頼できない》
全体		2	-	100.0	-	-	100.0	- (%)
性別	男性	0	-	-	-	-	-	-
	女性	2	-	100.0	-	-	100.0	-
	答えたくない	0	-	-	-	-	-	-
年齢	15歳～18歳	2	-	100.0	-	-	100.0	-
	19歳～22歳	0	-	-	-	-	-	-
	23歳～25歳	0	-	-	-	-	-	-

(3) わかりやすい情報提示方法

Q21 あなたが何かを知るときに、どのように説明されていると最もわかりやすいと思いますか。

わかりやすい情報提示方法については、「動画」が30.2%と最も高く、次いで「文字」が26.4%、「グラフや図」が24.2%、「絵や漫画」が19.0%と続いた。

図表 75. わかりやすい情報提示方法



性別に見ると、女性は「動画」が34.7%と男性（26.0%）より8.7ポイント高かった。

年齢別に見ると、15歳～18歳は「動画」が36.7%と全体（30.2%）を6.5ポイント上回った。また、19歳～22歳は「グラフや図」、23歳～25歳は「文字」がそれぞれ全体（24.2%、26.4%）を5.2ポイント上回った。

図表 76. 【性別・年齢別】わかりやすい情報提示方法

		回答者数 (n)	動画	文字	グラフや図	絵や漫画	その他	
全体		579	30.2	26.4	24.2	19.0	0.2	(%)
性別	男性	265	26.0	29.4	27.9	16.6	-	
	女性	291	34.7	23.4	21.3	20.6	-	
	答えたくない	23	21.7	30.4	17.4	26.1	4.3	
年齢	15歳～18歳	139	36.7	20.9	24.5	18.0	-	
	19歳～22歳	187	27.3	23.5	29.4	19.3	0.5	
	23歳～25歳	253	28.9	31.6	20.2	19.4	-	

Q16 のインターネットにおける情報源別に見ると、「動画」は「動画配信サービス」を利用している人が 44.0%と全体（30.2%）を 13.8 ポイント上回り、「SNS」を利用している人は 38.1%と全体を 7.9 ポイント上回った。また、「グラフや図」は「ホームページ」を利用している人が 35.1%と全体（24.2%）を 10.9 ポイント上回り、「ニュースサイト」を利用している人は 33.3%と全体を 9.1 ポイント上回った。

図表 77. 【インターネットにおける情報源別】わかりやすい情報提示方法

		回答者数 (n)	動画	文字	グラフや図	絵や漫画	その他
全体		579	30.2	26.4	24.2	19.0	0.2 (%)
インターネット における情報源 別に	ホームページ	188	24.5	21.8	35.1	18.6	-
	ニュースサイト	162	25.9	20.4	33.3	20.4	-
	ブログ	54	29.6	22.2	25.9	22.2	-
	SNS	239	38.1	22.2	24.3	15.5	-
	動画配信サービス	100	44.0	13.0	25.0	18.0	-
	その他	4	-	50.0	50.0	-	-
	Q15 インターネット非選択者	201	26.9	30.8	20.9	20.9	0.5

Q19 の情報を得ている SNS 別に見ると、「Instagram」、「TikTok」、「YouTube」を利用している人は「動画」が全体（30.2%）を 10 ポイント以上上回り、「X（旧Twitter）」を利用している人は「動画」と「グラフや図」が全体（30.2%、24.2%）を 5 ポイント以上上回った。一方、Q16 でインターネットにおける情報源として「SNS」を選択していない人は「動画」が 21.6%と全体（30.2%）を 8.6 ポイント下回った。

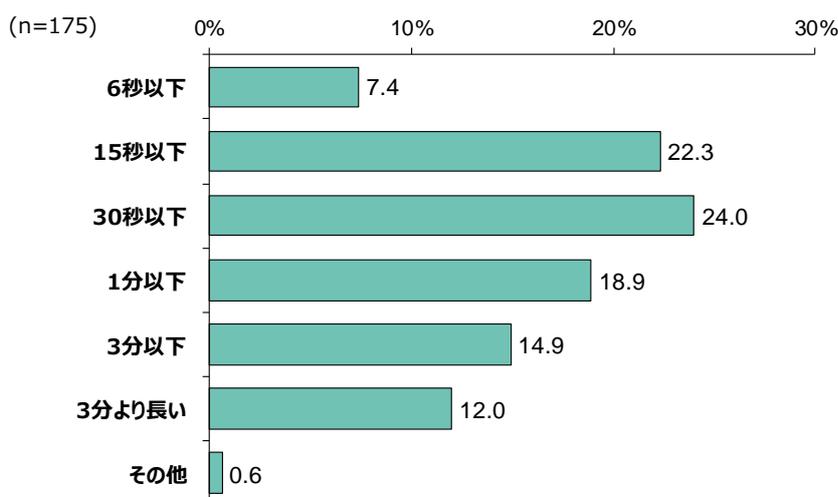
図表 78. 【情報を得ている SNS 別】わかりやすい情報提示方法

		回答者数 (n)	動画	文字	グラフや図	絵や漫画	その他
全体		579	30.2	26.4	24.2	19.0	0.2 (%)
情報を 得て いる SNS	X（旧Twitter）	170	35.3	18.2	30.0	16.5	-
	LINE	69	33.3	24.6	27.5	14.5	-
	Instagram	146	44.5	17.8	23.3	14.4	-
	TikTok	96	44.8	13.5	24.0	17.7	-
	YouTube	143	46.2	14.7	25.9	13.3	-
	その他	2	-	50.0	50.0	-	-
Q16 SNS非選択者		139	21.6	27.3	28.8	22.3	-

Q22 Q21で「動画」と回答した方にうかがいます。
どのくらいまでの動画であれば最後まで見ようと思いますか。

わかりやすい情報提示方法として「動画」と回答した人に、どのくらいまでの動画であれば最後まで見ようと思うかたずねたところ、「30秒以下」が24.0%と最も高く、次いで「15秒以下」が22.3%、「1分以下」が18.9%、「3分以下」が14.9%と続いた。

図表 79. 最後まで見ようと思う動画の長さ



性別に見ると、男性は「3分以下」が26.1%と最も高く、全体（14.9%）を11.2ポイント上回った。女性は「15秒以下」が29.7%と最も高く、全体（22.3%）を7.4ポイント上回った。

年齢別に見ると、19歳～22歳は「3分以下」が25.5%と全体（14.9%）を10.6ポイント上回り、15歳～18歳は「1分以下」、23歳～25歳は「15秒以下」がそれぞれ全体（18.9%、22.3%）を5ポイント以上上回った。

図表 80. 【性別・年齢別】最後まで見ようと思う動画の長さ

		回答者数 (n)	6秒以下	15秒以下	30秒以下	1分以下	3分以下	3分より長い	その他
全体		175	7.4	22.3	24.0	18.9	14.9	12.0	0.6 (%)
性別	男性	69	10.1	13.0	17.4	17.4	26.1	15.9	-
	女性	101	5.9	29.7	28.7	18.8	7.9	7.9	1.0
	答えたくない	5	-	-	20.0	40.0	-	40.0	-
年齢	15歳～18歳	51	7.8	15.7	23.5	27.5	9.8	15.7	-
	19歳～22歳	51	-	17.6	25.5	17.6	25.5	11.8	2.0
	23歳～25歳	73	12.3	30.1	23.3	13.7	11.0	9.6	-

Q16 のインターネットにおける情報源別に見ると、「ホームページ」と「ニュースサイト」を利用している人では「3分より長い」が全体（12.0%）を約10ポイント上回った。一方、Q15で情報入手手段として「インターネット」を選択していない人は「6秒以下」が14.8%と全体（7.4%）を7.4ポイント上回った。

図表 81. 【インターネットにおける情報源別】最後まで見ようと思う動画の長さ

		回答者数 (n)	6 秒 以下	1 5 秒 以下	3 0 秒 以下	1 分 以下	3 分 以下	3 分 より 長い	そ の 他
全 体		175	7.4	22.3	24.0	18.9	14.9	12.0	0.6 (%)
イ ン タ ー ネ ッ ト に お け る 情 報 源	ホームページ	46	2.2	23.9	21.7	15.2	13.0	21.7	2.2
	ニュースサイト	42	4.8	16.7	21.4	19.0	16.7	21.4	-
	ブログ	16	-	12.5	25.0	12.5	31.3	18.8	-
	SNS	91	4.4	25.3	25.3	19.8	12.1	13.2	-
	動画配信サービス	44	2.3	20.5	20.5	22.7	15.9	15.9	2.3
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-
Q15 インターネット非選択者		54	14.8	20.4	24.1	13.0	16.7	11.1	-

Q19 の情報を得ている SNS 別に見ると、「X (旧 Twitter)」を利用している人は「15 秒以下」が33.3%と全体（22.3%）を11.0ポイント上回り、「TikTok」を利用している人は「30 秒以下」が34.9%と全体（24.0%）を10.9ポイント上回った。一方、Q16 でインターネットにおける情報源として「SNS」を選択していない人は「1 分以下」と「3 分以下」が全体（18.9%、14.9%）を5ポイント以上上回った。

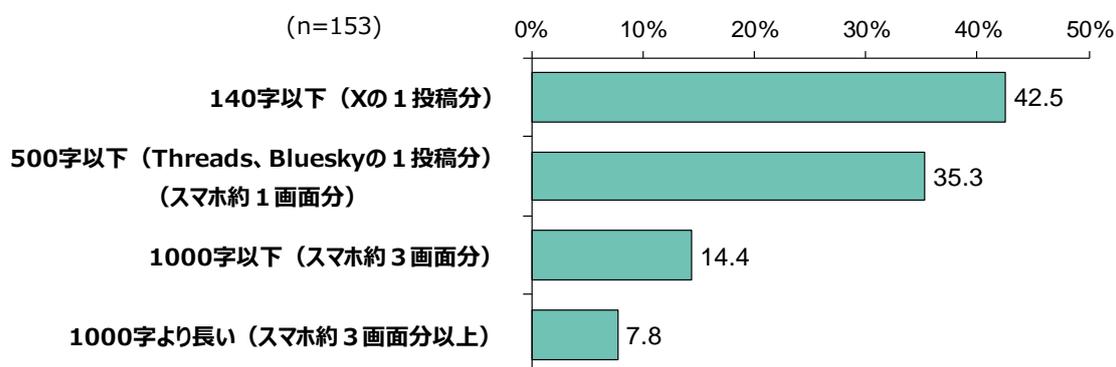
図表 82. 【情報を得ている SNS 別】最後まで見ようと思う動画の長さ

		回答者数 (n)	6 秒 以下	1 5 秒 以下	3 0 秒 以下	1 分 以下	3 分 以下	3 分 より 長い	そ の 他
全 体		175	7.4	22.3	24.0	18.9	14.9	12.0	0.6 (%)
情 報 を 得 て い る S N S	X (旧Twitter)	60	1.7	33.3	20.0	18.3	15.0	11.7	-
	LINE	23	8.7	26.1	21.7	17.4	13.0	13.0	-
	Instagram	65	4.6	26.2	24.6	18.5	13.8	12.3	-
	TikTok	43	4.7	23.3	34.9	18.6	11.6	7.0	-
	YouTube	66	4.5	22.7	25.8	18.2	15.2	13.6	-
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-
Q16 SNS非選択者		30	3.3	16.7	20.0	26.7	20.0	10.0	3.3

Q23 Q21で「文字」と回答した方にうかがいます。
何文字くらいが良いですか？

わかりやすい情報提示方法として「文字」と回答した人に、適切な文字数についてたずねたところ、「140字以下（Xの1投稿分）」が42.5%と最も高く、次いで「500字以下（Threads、Blueskyの1投稿分）（スマホ約1画面分）」が35.3%、「1000字以下（スマホ約3画面分）」が14.4%、「1000字より長い（スマホ約3画面分以上）」が7.8%と続いた。

図表 83. 適切な文字数



性別に見ると、男性は「500字以下（Threads、Blueskyの1投稿分）（スマホ約1画面分）」が41.0%と最も高く、全体（35.3%）を5.7ポイント上回った。女性は「140字以下（Xの1投稿分）」が47.1%と最も高かった。

年齢別では大きな差は見られなかった。

図表 84. 【性別・年齢別】適切な文字数

		回答者数 (n)	140字以下 (Xの1投稿分)	500字以下 (Threads、Blueskyの1投稿分) (スマホ約1画面分)	1000字以下 (スマホ約3画面分)	1000字より長い (スマホ約3画面分以上)
全体		153	42.5	35.3	14.4	7.8 (%)
性別	男性	78	38.5	41.0	11.5	9.0
	女性	68	47.1	29.4	17.6	5.9
	答えたくない	7	42.9	28.6	14.3	14.3
年齢	15歳～18歳	29	41.4	27.6	24.1	6.9
	19歳～22歳	44	38.6	36.4	15.9	9.1
	23歳～25歳	80	45.0	37.5	10.0	7.5

Q16 のインターネットにおける情報源別に見ると、「ホームページ」と「ニュースサイト」を利用している人では「1000 字以下（スマホ約 3 画面分）」が全体（14.4%）を 10 ポイント以上上回った。また、「SNS」を利用している人は「140 字以下（X の 1 投稿分）」が 56.6%と全体（42.5%）を 14.1 ポイント上回った。

図表 85. 【インターネットにおける情報源別】適切な文字数

		回答者数 (n)	分 140 字以下 (X の 1 投稿)	B (500 字以下) (スマホ約 1 画面分)	1000 字以下 (スマホ約 3 画面分)	1000 字より長い (スマホ約 3 画面分以上)
全体		153	42.5	35.3	14.4	7.8 (%)
インターネットにおける情報源別に	ホームページ	41	36.6	36.6	24.4	2.4
	ニュースサイト	33	39.4	30.3	27.3	3.0
	ブログ	12	58.3	25.0	16.7	-
	SNS	53	56.6	30.2	11.3	1.9
	動画配信サービス	13	38.5	30.8	30.8	-
	その他	2	-	50.0	-	50.0
Q15 インターネット非選択者		62	33.9	41.9	9.7	14.5

Q19 の情報を得ている SNS 別に見ると、「X (旧 Twitter)」を利用している人は「140 字以下 (X の 1 投稿分)」が 58.1%と全体 (42.5%) を 15.6 ポイント上回った。一方、Q16 のインターネットにおける情報源として「SNS」を選択していない人は「1000 字以下 (スマホ約 3 画面分)」が 26.3%と全体 (14.4%) を 11.9 ポイント上回った。

図表 86. 【情報を得ている SNS 別】適切な文字数

		回答者数 (n)	分 140 字以下 (X の 1 投稿)	B (500 字以下) (スマホ約 1 画面分)	1000 字以下 (スマホ約 3 画面分)	1000 字より長い (スマホ約 3 画面分以上)
全体		153	42.5	35.3	14.4	7.8 (%)
情報を得ている SNS	X (旧Twitter)	31	58.1	29.0	9.7	3.2
	LINE	17	64.7	17.6	17.6	-
	Instagram	26	57.7	30.8	11.5	-
	TikTok	13	61.5	15.4	23.1	-
	YouTube	21	38.1	38.1	19.0	4.8
	その他	1	-	-	100.0	-
Q16 SNS非選択者		38	36.8	31.6	26.3	5.3

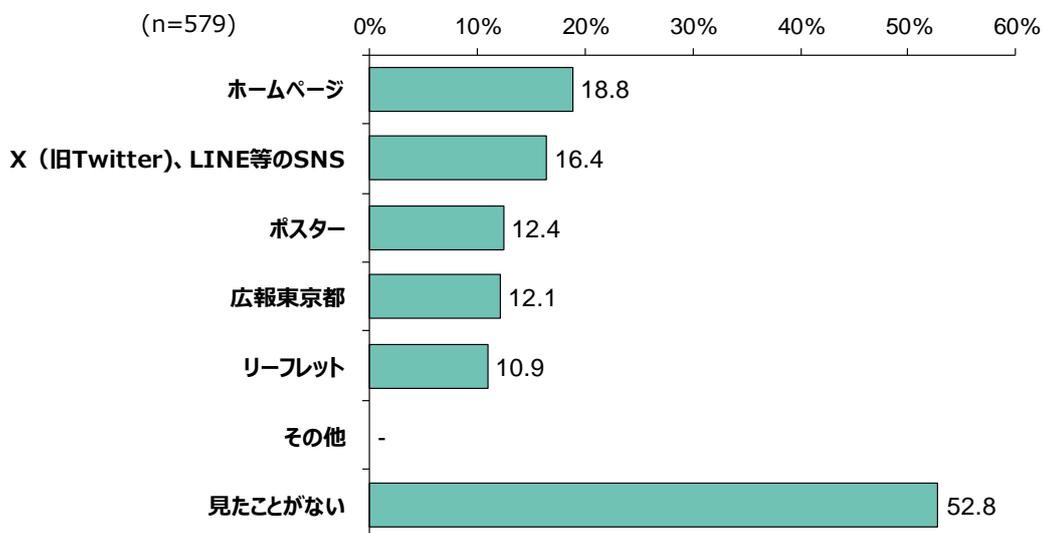
5 東京都の食品安全に関する情報発信について

(1) 東京都の食品安全に関する情報で見たことがあるもの

Q24 東京都が発信する食品の安全性に関する情報について、見たことがあるものはありますか。(複数回答)

東京都の食品安全に関する情報で見たことがあるものについては、「ホームページ」が18.8%と最も高く、次いで「X(旧Twitter)、LINE等のSNS」が16.4%、「ポスター」が12.4%と続いている。一方、「見たことがない」は52.8%であった。

図表 87. 東京都の食品安全に関する情報で見たことがあるもの(複数回答)



性別に見ると、男性は「ホームページ」が24.5%と全体（18.8%）を5.7ポイント上回った。また、女性は「見たことがない」が58.1%と全体（52.8%）を5.3ポイント上回った。年齢別では大きな差は見られなかった。

図表 88. 【性別・年齢別】東京都の食品安全に関する情報で見たことがあるもの（複数回答）

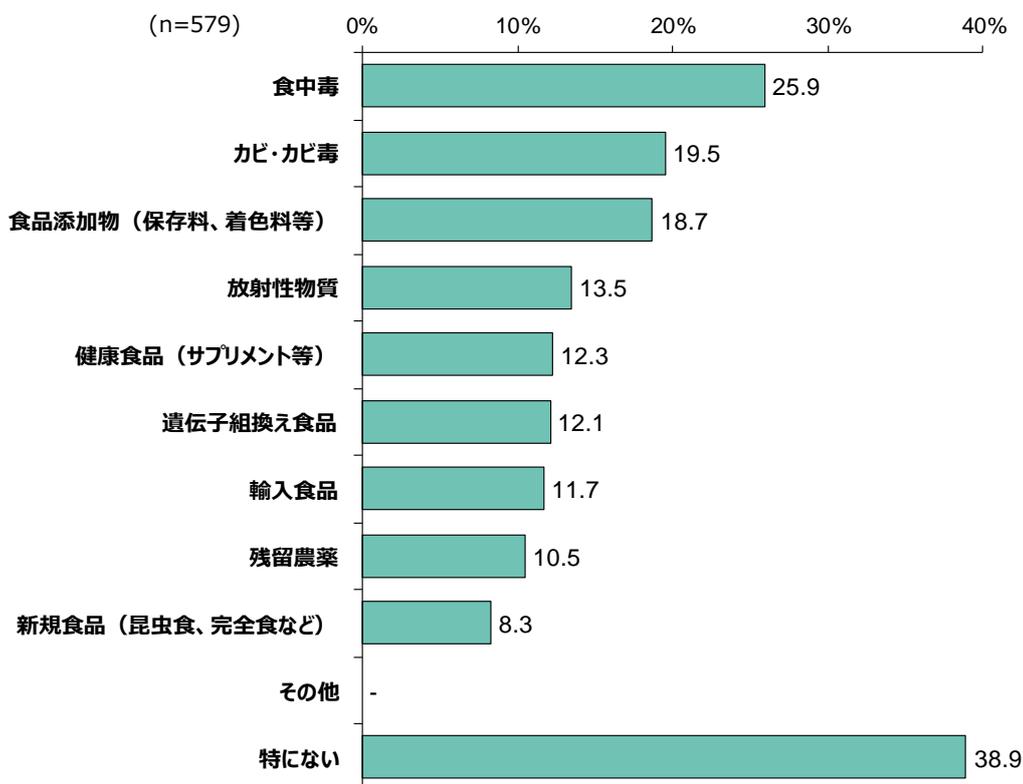
		回答者数 (n)	ホーム ページ	L X I N E T w i t h S t a r s (旧 S t a r s 等 の S t a r s) 、	ポ ス タ ー	広 報 東 京 都	リ ー フ レ ット	そ の 他	見 た こ と が な い
全 体		579	18.8	16.4	12.4	12.1	10.9	-	52.8 (%)
性 別	男性	265	24.5	19.2	15.5	16.6	13.2	-	45.7
	女性	291	14.4	14.4	10.3	8.9	8.9	-	58.1
	答えたくない	23	8.7	8.7	4.3	-	8.7	-	69.6
年 齢	15歳～18歳	139	15.1	15.8	17.3	9.4	8.6	-	52.5
	19歳～22歳	187	20.3	18.2	10.7	10.2	9.1	-	51.3
	23歳～25歳	253	19.8	15.4	11.1	15.0	13.4	-	54.2

(2) 食品安全に関し、東京都のホームページ等に掲載していたらよいと思うもの

Q25 食品の安全性に関することで、東京都のホームページや SNS に載っていたらよいと思うものは何ですか。(3つまで)

食品安全に関し、東京都のホームページ等に掲載していたらよいと思うものについては、「食中毒」が 25.9%と最も高く、次いで「カビ・カビ毒」が 19.5%、「食品添加物（保存料、着色料等）」が 18.7%と続いた。一方、「特にない」は 38.9%であった。

図表 89. 食品安全に関し、東京都のホームページ等に掲載していたらよいと思うもの (3つまで)



性別に見ると、「食中毒」は男性よりも女性の方が 8.3 ポイント高く、「遺伝子組換え食品」は女性よりも男性の方が 6.2 ポイント高かった。

年齢別に見ると、15 歳～18 歳は「放射性物質」が 23.7%と全体（13.5%）を 10.2 ポイント上回り、「食中毒」と「残留農薬」も全体（25.9%、10.5%）を 5 ポイント以上上回った。また、23 歳～25 歳は「特にない」が 45.5%と全体（38.9%）を 6.6 ポイント上回った。

図表 90. 【性別・年齢別】食品安全に関し、東京都のホームページ等に掲載していたらよいと思うもの（3 つまで）

		回答者数 (n)	食中毒	カビ・カビ毒	食品添加物 (保存料、着色料等)	放射性物質	健康食品 (サプリメント等)	遺伝子組換え食品	輸入食品	残留農薬	新規食品 (昆虫食、完全食など)	その他	特にない
全体		579	25.9	19.5	18.7	13.5	12.3	12.1	11.7	10.5	8.3	-	38.9 (%)
性別	男性	265	22.3	20.0	19.6	16.2	12.1	15.5	12.8	13.2	10.2	-	34.3
	女性	291	30.6	19.9	18.9	11.7	13.1	9.3	11.3	8.2	6.5	-	41.2
	答えたくない	23	8.7	8.7	4.3	4.3	4.3	8.7	4.3	8.7	8.7	-	60.9
年齢	15歳～18歳	139	33.1	18.0	22.3	23.7	13.7	15.1	7.9	18.0	7.9	-	30.2
	19歳～22歳	187	29.9	21.9	18.2	11.8	13.4	13.4	16.0	5.3	9.6	-	36.4
	23歳～25歳	253	19.0	18.6	17.0	9.1	10.7	9.5	10.7	10.3	7.5	-	45.5

Q13 の食中毒予防についての認知経路別に見ると、食中毒予防について「学校で習った」と回答した人は「食中毒」と「食品添加物（保存料、着色料等）」の割合がそれぞれ全体（25.9%、18.7%）を 10 ポイント以上上回った。また、「家族や友人から教わった」と回答した人は「カビ・カビ毒」と「食品添加物（保存料、着色料等）」がそれぞれ全体（19.5%、18.7%）を 10 ポイント以上上回った。一方、「習っていない」と回答した人は、「特にない」が 66.9%と全体（38.9%）を 28.0 ポイント上回った。

図表 91. 【食中毒予防についての認知経路別】食品安全に関し、東京都のホームページ等に掲載していたらよいと思うもの（3 つまで）

		回答者数 (n)	食中毒	カビ・カビ毒	食品添加物 (保存料、着色料等)	放射性物質	健康食品 (サプリメント等)	遺伝子組換え食品	輸入食品	残留農薬	新規食品 (昆虫食、完全食など)	その他	特にない
全体		579	25.9	19.5	18.7	13.5	12.3	12.1	11.7	10.5	8.3	-	38.9 (%)
食中毒予防についての認知経路	学校で習った	222	43.2	27.0	30.6	22.5	21.2	17.6	18.0	16.7	12.6	-	16.2
	家族や友人から教わった	129	34.1	30.2	30.2	17.1	19.4	20.9	17.1	17.1	10.1	-	17.1
	覚えていない	124	17.7	16.9	12.9	10.5	4.0	9.7	8.9	5.6	4.8	-	48.4
	習っていない	169	10.7	8.3	7.7	5.9	5.3	4.7	3.6	4.1	5.3	-	66.9
	その他	2	50.0	100.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-

Q3～Q6の「食品添加物」、「残留農薬」、「遺伝子組換え食品」、「放射性物質」についての考え方の回答別に見ると、「食品添加物」について「健康に影響があると思う」と回答した人は、「食品添加物（保存料、着色料等）」の割合が29.6%と全体（18.7%）を10.9ポイント上回った。「遺伝子組換え食品」について「健康に影響があると思う」と回答した人は、「健康食品（サプリメント等）」、「遺伝子組換え食品」の割合が全体（12.3%、12.1%）を10ポイント以上上回った。また、いずれの項目においても健康に影響があるか「わからない」と回答している人は、「特になし」の割合が全体（38.9%）を25ポイント以上上回った。

図表 92. 【食品添加物等についての考え方別】食品安全に関し、東京都のホームページ等に載っていたらよいと思うもの（3つまで）

	回答者数 (n)	食中毒	カビ・カビ毒	食品添加物 (保存料、着色料等)	放射性物質	健康食品 (サプリメント等)	遺伝子組換え食品	輸入食品	残留農薬	新規食品 (昆虫食、完全食など)	その他	特になし	
全体	579	25.9	19.5	18.7	13.5	12.3	12.1	11.7	10.5	8.3	-	38.9 (%)	
食品添加物について	健康に影響があると思う	250	33.6	26.4	29.6	16.8	20.0	21.2	16.4	14.8	11.2	-	18.0
	健康に影響が無いと思う	132	31.1	20.5	18.2	16.7	9.1	6.1	12.9	11.4	9.8	-	26.5
	わからない	197	12.7	10.2	5.1	7.1	4.6	4.6	5.1	4.6	3.6	-	73.6
残留農薬について	健康に影響があると思う	221	34.8	26.7	29.4	17.2	19.0	19.9	15.8	17.6	10.0	-	17.2
	健康に影響が無いと思う	121	27.3	20.7	20.7	16.5	8.3	9.9	12.4	11.6	10.7	-	28.9
	わからない	237	16.9	12.2	7.6	8.4	8.0	5.9	7.6	3.4	5.5	-	64.1
遺伝子組換え食品について	健康に影響があると思う	172	26.7	23.8	27.3	14.0	22.7	23.3	18.0	17.4	12.8	-	13.4
	健康に影響が無いと思う	163	34.4	25.8	24.5	18.4	8.0	8.6	9.8	15.3	11.0	-	27.6
	わからない	244	19.7	12.3	8.6	9.8	7.8	6.6	8.6	2.5	3.3	-	64.3
放射性物質について	健康に影響があると思う	207	27.5	24.6	28.5	17.9	18.4	19.8	16.4	15.9	10.1	-	17.9
	健康に影響が無いと思う	130	36.2	25.4	22.3	11.5	11.5	10.8	12.3	13.1	13.8	-	25.4
	わからない	242	19.0	12.0	8.3	10.7	7.4	6.2	7.4	4.5	3.7	-	64.0

Q11 と Q12 の食中毒に対する認識別に見ると、[食中毒にかかると、時には死ぬこともある。]、[カビ毒はゆでたり炒めたりするなどの通常の調理方法ではほとんど減らない。] いずれにおいても「わからない」と回答している人は、「特になし」の割合が全体（38.9%）を 10 ポイント以上上回った。

図表 93. 【食中毒に対する認識別】 食品安全に関し、東京都のホームページ等に掲載していたらよいと思うもの（3つまで）

		回答者数 (n)	食中毒	カビ・カビ毒	食品添加物 (保存料、着色料等)	放射性物質	健康食品 (サプリメント等)	遺伝子組換え食品	輸入食品	残留農薬	新規食品 (昆虫食、完全食など)	その他	特になし
全体		579	25.9	19.5	18.7	13.5	12.3	12.1	11.7	10.5	8.3	-	38.9 (%)
ある 時には死ぬことも 食中毒にかかると	そう思う	393	33.3	24.7	23.9	16.8	15.5	15.0	15.5	14.0	9.4	-	28.8
	そう思わない	78	11.5	12.8	14.1	6.4	7.7	5.1	5.1	2.6	11.5	-	38.5
	わからない	108	9.3	5.6	2.8	6.5	3.7	6.5	2.8	3.7	1.9	-	75.9
減らない カビ毒は通常の調理 方法ではほとんど	そう思う	261	28.7	25.3	25.3	14.2	16.9	13.8	15.3	14.2	9.6	-	26.8
	そう思わない	106	17.9	13.2	17.9	13.2	10.4	12.3	8.5	10.4	13.2	-	34.0
	わからない	212	26.4	15.6	10.8	12.7	7.5	9.9	9.0	6.1	4.2	-	56.1

6 自由記述

Q26 最近見た国や都道府県、区市町村の広告などについて、印象に残ったものがあれば教えてください。

記述内容
新幹線の広告
闇バイトについて
食中毒
警察の制服を着た女性ハーフモデル(タレント)のポスター
品川駅の広告
宇宙人の広告
PFAS 横田基地内から漏れ出た消火器の調査をしない東京都
調布市の市報
ポスター
労働基準法
以前の都知事選挙の際の AI ゆりこが印象的でした。小池知事の経歴やキャラクターを活かしつつ都民に分かりやすく情報を伝えていきたい例だと思います。また、近年政治家本人がTwitterアカウントを持っていることが多く、メディアによって曲解された情報ではなく政治家本人の言葉で発信される情報が得られることが非常に有用だと思いました。
地球温暖化
都道府県の観光スポットが詰め込まれたポスター
拉致事件の広告
音楽会のお知らせ
東京都のCM
宇都宮「とかいなか」言い得て妙だが、あそこを田舎にしたら田舎の面目が立たない。
IR法の推進
北海道旅行の広告
飲酒、タバコの危険性に関するものと、道路の飛び出し注意の広告はメッセージが印象に残っています。
選挙
エール飯
せたがやそだち

Q27 食品の安全性に関する情報が同世代に伝わるにはどうしたらよいか、アイデアがあれば記載してください。

記述内容
SNS
SNS
SNS
SNS もっと関する情報を載せる
SNS での広報活動。
SNS での広報強化
SNS での発信
SNS で若者にもわかりやすくアピール
SNS で発信する
SNS で発信する
SNS で分かりやすい画像
SNS などでの広告
SNS などでの幅広い広告
SNS に広告出す
SNS に広告を出す
SNS の広報
SNS を活用する
SNS を活用する
SNS を使う
SNS を使う
SNS を使う
SNS を使用する
SNS を積極的に活用する
SNS を利用する
より SNS で広報する
公式の SNS を運用する
YouTube

記述内容
YouTube などの SNS を通じて発信する。
YouTube の広告で発信する
YouTube や Twitter、Instagram などの SNS に広告を載せる。政治家本人の SNS アカウントで食品の安全性に関する情報を発信する。
TikToker などの著名人に食品の安全性に関する動画を投稿してもらう
TikTok 広告
ティックトックで伝える
Instagram や X など
LINE やインスタで音も含め目に焼き付く広告
インスタを使う
インターネットを活用する
インフルエンサーによる正しい情報の拡散
インフルエンサーに紹介してもらう
インフルエンサーを起用した広告活動を行う
若いインフルエンサーが宣伝する
有名なインフルエンサーにお願いする
有名な人を起用する
流行りのインフルエンサーなどを起用して動画や CM を作る
オピニオンリーダーが積極的に発信
おばんちゅうさぎとのコラボ
キャラクターを書いて子供に親しみを持つようにする
ショート動画
ショート動画を流す
ショート動画など短くて分かりやすいもの 動画、音声からの情報の方が頭に入りやすい
短い動画
短い動画で教える
動画
動画が 1 番見られると思う
動画にする
面白い動画にする
もしも食中毒になったらの動画をつくる。体の中はどうなっているかなど

記述内容
食中毒になったらどのようなようになるか具体例を動画で示す
最悪の事態の実例を取り上げ、1度どれほど食中毒が恐ろしいのかというのをしっかり説明する。根拠が明確であれば若者の理解もしやすいし、慎重に考えるようになるのでは。SNSにドラマっぽく動画をアップするのはどうかと。ドラマだと皆見入っちゃうんですよ。
スマホの広告に出して、目に留まる回数を増やす
テレビCM
テレビで
テレビやSNS、町の広告などで警告すると良いと思います。
マンガなどで伝える、SNSなどで拡散する
漫画で出す
流行りの漫画等とコラボする
4コマで伝える
4コマ漫画で簡潔に伝える
同世代の人間は文章を読めないからわかりやすい漫画とかにした方がいいと思う。
アニメで
画像などをつけて分かりやすくする
イラストを増やす
絵を多めに
分かりやすいイラストと長くない説明
文字を少なくしてカラフルにしたら見たくなる
学校で積極的に周知する
学校の授業中で行う
学校教育を強化する。YouTubeなどで、食品の危険性を訴えかける広告を流す。
高校の授業で教える
広告として掲載する
広告を掲載する
電車などに広告を出す
キャンペーン付き広告を作る
斬新さ必要。
若者が利用するメディアで目に触れる機会を増やして、関心あるテーマで紹介するのが大切だと思います。
色々なマスメディアで言い回る。

記述内容
事例を説明
最悪の場合死に至るということをおどろおどろしく説明する。
食中毒のシチュエーション広告
食品の安全性に関しては、リアルな体験情報を伝えるのが効果的で、死につながりやすい有害な食品を分かりやすく情報提供するのが望ましいと思いました。
食品の安全性は、日常生活と健康面に関わると伝え、適切な情報を把握して役立て参考にする活動を紹介する。
食べ物や商品に記載する
食品を買う場所のポップや掲示に書く
同世代に食品の安全性に興味を引く内容に心がけ、明るく楽しい演出で盛り上げ【食品】の大切さを再認識させる取り組みで伝える。
料理動画の最後などに情報を付け加える
食べログ投稿
ポイントを貯めるアプリ等に掲載

IV 資料（調査票）

食べ物などに関するアンケート

アンケートにご協力をお願いします。

※18歳未満の方は、保護者の同意を得てからご回答ください。

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。

回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。

JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

次へ

[必須]

F1 あなたのお住まいの都道府県を教えてください。

選択して下さい▼

次へ

[必須]

F2 あなたの年齢をお知らせください。

歳

戻る

次へ

[必須]

F3 あなたの性別を教えてください。（1つだけ）

男

女

答えたくない

戻る

次へ

[必須]

F4 このアンケートに回答することについて、保護者の同意を得ていますか。

- はい
- いいえ

戻る

次へ

[必須]

F5 あなたの職業（または通っている学校の種別）を教えてください。（1つだけ）

- 高校生
- 大学生・大学院生
- 短大生・専門学校生
- 会社員・公務員・自営業
- パート・アルバイト
- その他（具体的に）

戻る

次へ

[必須]

Q1 あなたはふだん自分で料理をしますか。（1つだけ）

- ほぼ毎日する
- 週に3～5日する
- 週に1～2日する
- ほとんどしない

戻る

次へ

[必須]

Q2 次のうち、あなたがふだん食品を購入したり、外食の際に特に気にしていることは何ですか。（3つまで）

外食時の食品衛生

食品ロス

糖質の量

食品添加物（保存料、着色料等）

塩分量

食品表示の偽装

食品価格

残留農薬

食中毒

脂質の量

その他（具体的に）

特になし

戻る

次へ

[必須]

Q3 あなたがふだん食べている食事の食品添加物について、どのように思いますか。（1つだけ）

健康に影響があると思う

健康に影響が無いと思う

わからない

戻る

次へ

[必須]

Q4 あなたがふだん食べている食事の残留農薬について、どのように思いますか。（1つだけ）

- 健康に影響があると思う
- 健康に影響が無いと思う
- わからない

戻る

次へ

[必須]

Q5 あなたがふだん食べている食事の遺伝子組み換え食品について、どのように思いますか。（1つだけ）

- 健康に影響があると思う
- 健康に影響が無いと思う
- わからない

戻る

次へ

[必須]

Q6 あなたがふだん食べている食事の放射性物質について、どのように思いますか。（1つだけ）

- 健康に影響があると思う
- 健康に影響が無いと思う
- わからない

戻る

次へ

【必須】

Q7 あなたが健康食品（サプリメント）について持っているイメージを教えてください。（1つだけ）

- 良い
- まあまあ良い
- どちらともいえない
- あまり良くない
- 良くない

戻る

次へ

【必須】

Q8 あなたが輸入食品について持っているイメージを教えてください。（1つだけ）

- 良い
- まあまあ良い
- どちらともいえない
- あまり良くない
- 良くない

戻る

次へ

【必須】

Q9 あなたは、今までに食中毒（食品が原因の体調不良のこと。疑いを含む）になったことがありますか。
（1つだけ）

- あった
- なかった
- わからない・覚えていない

戻る

次へ

【必須】

Q10 あなたが食中毒予防のために特に気を付けていることは何ですか。（いくつでも）

- 食品に書かれている期限表示内に食べきる
- 鶏の刺身やレアハンバーグなど、中まで火が通っていない肉は食べない
- 調理の前や食事の前等には手を洗う
- できるだけ無農薬・無添加の食品を食べる
- 生で食べる野菜等を先に調理し、肉や魚はその後に調理をする。
- 要冷蔵と書かれたものは冷蔵庫で保存する
- できるだけ国産のものを食べる
- その他（具体的に）
- 特に気を付けていることはない

戻る

次へ

【必須】

Q11 次の内容について、どのように思いますか。（1つだけ）

食中毒にかかると、時には死ぬこともある。

- そう思う
- そう思わない
- わからない

戻る

次へ

【必須】

Q12 次の内容について、どのように思いますか。（1つだけ）

カビ毒はゆでたり炒めたりするなどの通常の調理方法ではほとんど減らない。

- そう思う
- そう思わない
- わからない

戻る

次へ

【必須】

Q13 あなたは、食中毒予防などについて、どこで習いましたか。（いくつでも）

- 学校で習った
- 家族や友人から教わった
- 覚えていない
- 習っていない
- その他（具体的に）

戻る

次へ

【必須】

Q14 Q13で「学校で習った」と答えた方にうかがいます。
食中毒予防などについて、どこで習いましたか。（いくつでも）

- 小学校
- 中学校
- 高校
- 大学
- その他（具体的に）

戻る

次へ

【必須】

Q15 あなたはふだん、何かを調べようとするときに、どのような手段をよく利用しますか。（いくつでも）

学校や塾の先生

インターネット

新聞

友人・知人

ラジオ

雑誌・書籍

家族

テレビ

その他（具体的に）

戻る

次へ

【必須】

Q16 Q15で「インターネット」と回答した方にうかがいます。
具体的には、どこから情報を得ていますか。（いくつでも）

ホームページ

ブログ

ニュースサイト

SNS

動画配信サービス

その他（具体的に）

戻る

次へ

【必須】

Q17 Q16で選んだものについて、そこからの情報は信頼できると思っていますか。（それぞれ1つずつ）

		かなり信頼できる と思っています	ある程度信頼できる と思っています	あまり信頼できない と思っています	ほとんど信頼できない と思っています
ホームページ	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ブログ	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ニュースサイト	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
SNS	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
動画配信サービス	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他【 】	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

戻る

次へ

【必須】

Q18 Q15で「インターネット」と回答した方にうかがいます。

具体的には、どのようなウェブサイトやSNSから情報を得ていますか。（いくつでも）

企業が公開しているウェブサイトやSNS

有名人ではない、インターネットの意見（Xのトレンド等）

研究者などの専門家が公開しているウェブサイトやSNS
(具体的な名称)

専門家以外の有名人（芸能人、インフルエンサーなど）が公開しているウェブサイトやSNS
(具体的な名称)

検索して上位にヒットしたもの

行政機関が公開しているウェブサイトやSNS

その他（具体的に）

戻る

次へ

[必須]

Q19 Q16で「SNS」と回答した方にかがいます。
具体的には、どの媒体から情報を得ていますか。(いくつでも)

<input type="checkbox"/>	YouTube
<input type="checkbox"/>	TikTok
<input type="checkbox"/>	LINE
<input type="checkbox"/>	X (旧Twitter)
<input type="checkbox"/>	Instagram
<input type="checkbox"/>	その他(具体的に) <input type="text"/>

[戻る](#) [次へ](#)

[必須]

Q20 Q19で選んだものについて、そこからの情報は信頼できると思っていますか。(それぞれ1つずつ)

		ほとんど信頼できない と思っています	あまり信頼できない と思っています	ある程度信頼できる と思っています	かなり信頼できる と思っています
YouTube	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
TikTok	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
LINE	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
X (旧Twitter)	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Instagram	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他【 】	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[戻る](#) [次へ](#)

[必須]

Q21 あなたが何かを知るときに、どのように説明されていると最もわかりやすいと思いますか。（1つだけ）

- 動画
- 文字
- 絵や漫画
- グラフや図
- その他（具体的に）

戻る

次へ

[必須]

Q22 Q21で「動画」と回答した方にかがいます。
どのくらいまでの動画であれば最後まで見ようと思いますか。（1つだけ）

- 6秒以下
- 15秒以下
- 30秒以下
- 1分以下
- 3分以下
- 3分より長い
- その他（具体的に）

戻る

次へ

[必須]

Q23 Q21で「文字」と回答した方にうかがいます。
何文字くらいが良いですか？

- 140字以下 (Xの1投稿分)
- 500字以下 (threads、blueskyの1投稿分)
(スマホ約1画面分)
- 1000字以下 (スマホ約2画面分)
- 1000字より長い (スマホ約3画面分以上)

戻る

次へ

[必須]

Q24 東京都が発信する食品の安全性に関する情報について、見たことがあるものはありますか。(いくつでも)

- ホームページ
- X (旧Twitter)、LINE等のSNS
- 広報東京都
- リーフレット
- ポスター
- その他(具体的に)
- 見たことがない

戻る

次へ

[必須]

Q25 食品の安全性に関することで、東京都のホームページやSNSに載っていたらよいと思うものは何ですか。（3つまで）

食中毒

健康食品（サプリメント等）

カビ・カビ毒

輸入食品

食品添加物（保存料、着色料等）

放射性物質

新規食品（昆虫食、完全食など）

残留農薬

遺伝子組換え食品

その他（具体的に）

特にない

戻る

次へ

Q26 最近見た国や都道府県、区市町村の広告などについて、印象に残ったものがあれば教えてください。（自由にご記入ください）

戻る

次へ

Q27 食品の安全性に関する情報が同世代に伝わるにはどうしたらよいか、アイデアがあれば記載してください。（自由にご記入ください）

戻る

次へ

ご協力ありがとうございました。
これでアンケートは終了です。このページを閉じてください。
ご回答ありがとうございました。

令和7年3月発行

若年層の食品安全に関する意識調査 報告書

編集・発行 東京都健康安全研究センター
企画調整部 健康危機管理情報課 食品医薬品情報担当
〒169-0073
東京都新宿区百人町 3-24-1
電話 03 (3363) 3472

調査委託 株式会社総合企画
〒111-0053
東京都台東区浅草橋 1-7-2 岩崎ビル 4階
電話 03 (5829) 6203